

# ゆうでんかい、 DENKAI

大阪電気通信大学友電会  
大阪電気通信大学同窓会組織

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University



No.126

2017/3

2016.06.18 15:32

㊦㊧楽しい雰囲気「3団体合同懇親会」  
(寝屋川キャンパスJ号館1階のレストランで)

㊦ 「クラブ同窓会旗・垂旗」を贈呈していただいた  
大角武紘(E01)氏を囲んで記念撮影



2016.06.18 15:32



2016.06.18 15:49





母校・寝屋川・駅前学舎で  
イルミネーションを点灯  
寝屋川キャンパス・駅前キャンパスで  
は、2016年12月1日(木)から2017年1  
月13日(金)まで写真のようなイルミ  
ネーションが点灯しました。これはキャン  
パス周辺の賑わいを創出し、市民の皆  
さんと一緒に学生街を活性化するために  
設置されたものです。  
(写真：母校・ホームページ 2016-12-  
01 掲載より)

## 友電会主催の「卒研室対抗ソフトボール大会」の 優勝・準優勝・3位(2チーム)の4チーム



⑤優勝した早坂研



⑥準優勝した溝井研



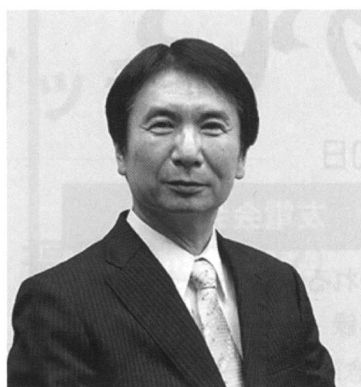
⑦は3位の  
森研と阿南・添田研





## 森 幸治教授が 副学長に就任

2016年10月1日付で、大阪電気通信大学の副学長に森幸治教授が就任しました。森教授は副学長として、本学の管理運営に関する学長の業務を補佐するとともに、本学の教育改革を推進していきます。



### 【森幸治副学長プロフィール】

1981年 大阪大学工学部機械工学科卒業  
1983年 大阪大学大学院工学研究科前期課程機械工学専攻卒業  
1983年 新日本製鉄株式会社入社  
1988年 大阪大学工学部機械工学科助手  
1998年 大阪電気通信大学工学部第1部知能機械工学科助教授  
2001年 大阪電気通信大学工学部第1部知能機械工学科教授  
2007年 大阪電気通信大学工学部機械工学科教授（現在に至る）  
2010年4月 就職部長（～2013年5月まで）  
2011年 日本実験力学会会長（2011年度）  
2016年4月～ 教務部長  
2016年10月～ 教育開発推進センター長  
工学博士58歳  
（母校ホームページ 2016-10-03から転載）

### ■母校・友電会の行事日程

#### ●平成29年度の大学行事日程

4/ 4（火） 入学式  
6/18（日） オープンキャンパス  
7/23（日） オープンキャンパス  
8/26（土） オープンキャンパス  
11/ 4（土）・5（日） 大学祭  
2/ 3（土）・4（日） なわてん  
3/24（土） 学位授与式

#### ●平成29年度の友電会行事日程

4/15（土） 第1回理事会・評議員会  
6/ 3（土） 東海総支部総会  
6/17（土） 通常総会・第2回理事会・  
第1回全国支部長会  
（6月の総会以降の日程は、未定です）



### 中野正三(E05)氏が 四国の 「四万十市観光大使」に

友電会会員のの中野正三(E05)氏が出身地の四国「四万十市観光大使」に委嘱されました。

四万十市のホームページによると、「出身またはゆかりがあり、様々な分野で活躍されていて本市の魅力を積極的にPRしていただける方に『四万十市観光大使』を委嘱しました」とあり、中野氏は16名の大使の1人。

また、「それぞれの大使には、ご自身の活動のなかで、観光情報や魅力ある地域ブランドを広く発信していただきます。また、本市の観光振興に係るアドバイスや、国内外PRのための情報提供も期待しています」としています。

### ●中野 正三(なかの しょうぞう)氏 （四万十市出身）

関東に在住する四万十市や幡多郡出身者の親睦、福利の増進、郷土の発展を目的に結成した「関東幡多四万十会」の会長を務め、会員による四万十市へのツアーをこれまでに2回実施している。（四万十市ホームページより）

中野氏は、CIJネクスト代表取締役会長を務めるなど社会人としても活躍されています。

また、母校のPRを兼ねて母校を中心としたマラソンを行っています。一昨年5月1日にはJR京都駅を午前8時半に出発、奈良市、奈良先端科学技術大学院大学などを経由して母校・四條畷キャンパス、そして寝屋川キャンパスまで66kmを見事完走しました。

2014年5月3日には、母校・寝屋川キャンパスを出発し、和歌山城まで約90kmを完走しています。（中野氏のマラソンに関しては、友電会ホームページ「2015年5月26日」に掲載）  
（中野正三氏の写真は四万十市ホームページより）



# ゆうでんかい

第126号 2017年3月10日

大阪電気通信大学・同窓会組織 友電会会誌

- ・友電会「平成28年度通常総会」開かれる ----- 6
  - ・友電会「平成28年度通常総会」議事録 ----- 8
  - ・友電会総会で大石利光新学長が「記念講演」----- 10
  - ・緑樹会、クラブ同窓会と「3団体合同懇親会」----- 12
  - ・友電会の「役員・支部・組織・評議員」----- 16
  - ・同窓会組織「友電会」の活動・運営 ----- 18
  - ・母校が「ホームカミングデー2016」を大学祭時に --- 22
  - ・「母校のトピックス」―「名誉教授授与式」など ----- 25
  - ・友電会が『2016年度 なわてん』を後援 ----- 26
  - ・友電会主催「現役学生とOB教員との教育懇談会」--- 32
  - ・「平成28年度企業家同友会」(友電会主催)開催 ----- 33
  - ・友電会主催「卒研室対抗ソフトボール大会」----- 34
  - ・友電会「大阪支部」が誕生―16支部に増加 ----- 36
  - ・「平成29年度東海総支部総会・懇親会」のご案内 ---- 38
  - ・「36会」が5月に四万十川など高知県西部ツアー ----- 38
- 「クラブ活動関係」
- ・「第52回チャリティーラリー 丹後半島ラリー 2016」- 29
  - ・「女子バスケットボール部」が2部リーグに昇格 ----- 30
  - ・柔道部の学生が寝屋川と守口の「柔道大会」で優勝 -- 31

表紙題字 故 田崎 秀夫 元学長

ホームページ <http://www.yudenkai.org/>

■会誌への投稿や事務局への連絡等はE-mailかFAX.で  
友電会事務局 FAX. 072-824-1197  
E-mail : yudenkai@yudenkai.org

2017年3月10日 第126号

発行所／大阪電気通信大学友電会(大阪電気通信大学同窓会組織)

YUDENKAI The Alumni Association of  
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号  
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530  
(友電会直通) TEL. 072-824-3111 FAX. 072-824-1197  
(大学代表) TEL. 072-824-1131 内線 3266  
郵便振替番号 00990-5-49361

発行責任／ 友電会会長 福田 武  
編集責任／ 友電会事務局長 柴垣 佳明  
編集／ 廣谷 明、澤居比佐夫、段安 義彦、辻 佳彦、吉田 祐三  
資料提供／ 学校法人大阪電気通信大学  
大阪電気通信大学事務局他  
寄贈先／ 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会  
並びに国立国会図書館遂次刊行物部、その他  
購読料／ 2年間 1,000円  
(卒業後3年間は無料配布、総会通知号は全会員に)  
印刷／ ダイコロ株式会社

## 大学 学章



電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配している。この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希いがこめられてつくられた。

## 会誌購読のお願い

■購読料: 2年間 1,000円

友電会では、会員諸氏相互の「情報・交流・親睦の場」として、会誌「ゆうでんかい」を発刊しています。

なお、卒業後3年間は、無料です。また、法人化入会金を納入されている方は無料です。

## 会誌発送用の宛名の「記号」について (封筒の宛名シール)

購読の残年数

(この場合は、「あと1年」です)

友電会会員番号

E01×××-01

卒業学科  
(この場合  
電子工学科)

卒業期  
(この場合  
1期生)

番号

## 編集後記

●来年度の友電会通常総会は平成29年6月17日(土)に、母校・四條畷キャンパスで開催されます。当日は、「四條畷キャンパスの施設見学会」が予定されており、記念講演会も。また、母校・教職員のOB会「緑樹会」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3団体による「合同懇親会」を開催します。

●「友電会支部」の総会も、次々と開催されます。「東海総支部」は6月3日(土)に名古屋駅前の「名鉄グランドホテル」で開きます。例年、10月から11月が多いです。住んでいる、勤務地など「ゆかりの地」で開催される「支部総会」には、ぜひとも参加を。

●「女子バスケットボール部」が2部リーグに昇格しました。まさに快挙です。友電会からお祝い金として「5万円」を贈呈しました。

●友電会は総合情報学部卒業研究展『2016年度なわてん』を後援しました。169作品が展示され、「グランプリ賞」、「芸術賞」などに加え、今年度から「友電会賞」が加わりました。「友電会賞」は3点で、選定にあたっては、どれも素晴らしい作品だけに「苦労」しました。



友電会掲示板

友電会のホームページに「友電会掲示板」コーナーがあります。会員の皆さんからの自由な意見を掲載、同窓の集いの広場になればと思っています。母校発展に寄与する建設的なアイデアや近況報告などをお寄せ下さい。



# 同窓の絆をガッチリ

大阪電気通信大学

友電会会長

福田 武(E02)



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。  
新入学生の皆さん、入学おめでとうございます。  
同窓会「大阪電気通信大学友電会」を代表してお祝い申し上げます。

友電会は、昭和40年第1期生卒業時に発足し53回を迎えます。目的は大学と密接に連携しながら、大学の繁栄に協力、支援するとともに、会員相互の親睦を図り、母校の輝かしい伝統を継承することです。

会員は、今年で5万人を超え、国内はもとより海外においてもエレクトロニクス分野を中心に技術、経営、官僚及び教育等あらゆる分野で活躍しています。また、支部は国内外を問わず16支部あり、さらに支部の設置を奨励していますが、それぞれが独自の研修会や講演、見学等の地域支援活動をしています。

本部では、毎年6月に「通常総会・懇親会」を開催し、母校を退職された教職員の同窓会「緑樹会」と「クラブ同窓会」との3団体合同で行い、会員はもとより恩師の先生方も多数参加されます。また、地域社会への貢献活動として学生の支援を得て「ロボット教室」を催し、学内では卒研室対抗ソフトボール大会の開催、クラブ活動の支援、学修の研究・制作の奨励及び各種寄贈等の学生に対する支援を推進しています。

キャリア教育としては、OB講師の派遣、OB教職員と将来教育関係を目指す学生との「教育懇話会」、OB企業家間交流の「企業家同友会」による就職支援のための意見交換会等を通じて、各業界の豊富な経験を活用した事業も行っています。

このような各種事業をより円滑に支援するため、半世紀に亘るこの大きな組織を親睦会ではなく、法の下での組織として管理、運営する必要があります。そのため、30数年に亘って念願でありました法人化を推進するため、この度、「法人化委員会」を設置し、一般社団法人への準備をしています。今

後益々充実した組織の基に大学の繁栄に寄与し、同窓の絆がより強くなることを期待しています。

卒業生の皆さん！

卒業後は社会の一員として、各方面で活躍される事と思いますが、我々同窓は同種業界の中にあって出会いが多くあり、「おお！電通大出身やったんか！」とよく確認し合う事を聞きます。社会の一員として、また同窓の一員として、本部・支部の活動や大学が主催するホームカミングデイ(卒業生の集い)に参加し、同窓の絆を深めると共に、社会の実務教育として、活用して頂ければと思います。同時に会の活力には若いエネルギーが必要です。所以宜しくお祈いします。

新入学生の皆さん！

皆さんが有意義で、のびのびと勉学に励むことができ、また学生生活の良い思い出ができるような環境作りを支援しています。

まず、昨年の「卒研室対抗ソフトボール大会」では18チーム、約250名の学生、先生が参加し、大いに盛り上がり、楽しんでいただきました。また「なわてん」(総合情報学部卒業研究展)では、各賞のうち「友電会賞」3組を加え、4年間の学習の研究・制作を応援しています。

また、安心して学べるように「奨学金制度」や無利子による「短期貸付制度」も設けていますので、大いに活用して下さい。

今後とも、皆さんが有意義な学生生活が送れるような事業、支援活動を展開しますので、ご期待ください。

会員諸氏におかれましては、友電会の事業、活動についてご理解をいただき、ますますのご支援とご協力をお願い致します。





2016.06.18 13:45

平成28年度友電会役員

## 平成28年度大阪電気通信大学友電会通常総会

### 84 名が出席 7つの全議案承認される

「平成28年度友電会通常総会」は、平成28年6月18日(土)午前11時40分から母校・寝屋川キャンパスJ号館(エデュケーションセンター)のJ-507号室で開催されました。総会は会誌「ゆうでんかい」125号の10ページから16ページに掲載された第1号議案から第7号議案まで説明報告した後、審議した結果、全議案が承認されました。

#### ●通常総会

総会は森石峰一(F14)友電会理事の司会で開会しました。

まず初めに柴垣佳明(D33)事務局長が友電会総会の成立条件について説明しました。友電会定款第33条で「会員現在数の200分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決する

ことはできない」とあります。ただし、「当該事項につき書面をもって、あらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす」となっています。

柴垣事務局長は、「会員現在総数は4万9132名で、成立条件は245名です」とし、「本日の出席者は84名、委任状470名、合計554名です。よって、本日の総会は成立しています」と報告しました。

#### ●議長の選出

続いて、議長の選出に入りました。森石司会が立候補者を募ったところ、吉田栄治(F02)友電会評議員が意志を表示し、議長に選任されました。

吉田議長は、「平成28年度大阪電気通信大学友電会の通常総会を開催します」と力強く宣言。

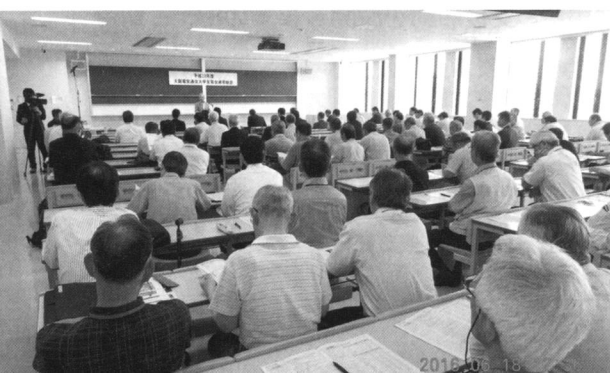
ここで、会場から「総会開催が15分も遅れたのはなぜか」との声が上がり、池本善一(E02)友電会会長は「この前に開催された理事会で、議事が長引きま

した」と説明報告しました。

#### ●総会審議

総会の審議に入り、藤田英治(E22)友電会理事が第1号議案「平成27年度事業報告」を会誌125号10ページの内容に基づいて説明報告しました。続いて柴垣事務局長が第2号議案「平成27年度収支決算報告」を会誌125号11ページの内容に基づいて説明報告しました。第3号議案「平成27年度一般会計剰余金処分案」を会誌125号12ページの内容に基づいて柴垣事務局長が説明報告しました。

監査報告では、澤井剣(G24)監事と尼丁正寄(F08)監事が「定款第14条及び43条に基づき、平成27年度の友電会業務、財産運用、会計の処理の監査を平成28年4月9日に会長、副会長、事務局長立ち合いのもと実施しました」とし、「平成27年度の友電会業務、財産運用、会計処理等は法令及び友電会定款に従い、いず



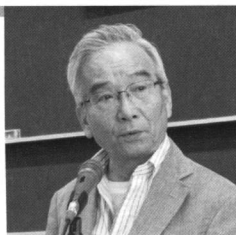
通常総会の光景

2016.06.18





総会の司会を務める  
森石峰一理事



議長の吉田栄治  
評議員



議案を説明報告する  
藤田英治理事



議案を説明報告する  
柴垣佳明事務局長



監査報告をする  
尼丁正寄監事



澤井剣監事



守上芳士監事



議案を説明報告する  
池本善一会長



あいさつする新会長・福田武氏

新三役(下の写真、左から)  
柴垣佳明事務局長、岡本清孝副会  
長、福田武会長、廣谷明副会長、  
水谷元也副会長

れも適正に執行されていることを認  
めます」と報告。また、「事業報告、  
収支決算報告、貸借対照表、財産目  
録は法令及び友電会定款に従い、適  
正に示されていると認めます」とし  
ています。

ここで、守上芳士(E05)監事から  
「友電会平成27年度監査報告書」が  
提出され、「平成27年度監査の結果、  
特に次の2件において友電会業務が  
適正に執行されなかったことにより  
会計監査は意味がなく、定款違反を  
繰り返したことを報告いたします」  
としています。

1件目は「監査請求の臨時理事会  
は開催されなかった(定款第21条の  
監査請求の拒否となり違反してい  
る)」。2件目は「臨時評議員会開催  
請求は、会長が拒否及び理事会で拒  
否決議をした(定款第23条違反)」と  
しています。

守上監事は、「以上のことから、平  
成27年9月6日の臨時理事会は開催  
の必要のない会議を執行したことにな  
り、この会議開催に対する経費使用  
棄損に対する責任を請求します」  
とし、「しかしながら、この件に関し  
他の監事は『適正に執行している』  
ことを認めています。正当性を認め

る根拠を文書報告を請  
求します」と結びまし  
た。

続いて第4号議案「平  
成28年度事業計画案」  
について、藤田理事が  
会誌125号13ページの  
内容に基づいて説明報  
告、第5号議案「平成28年度収支予  
算案」について、柴垣事務局長が会  
誌125号14ページの内容に基づいて  
説明報告しました。

第6号議案「平成28年度友電会役  
員案」と第7号議案「平成28年度友  
電会評議員案」について、池本会長  
が会誌125号15、16ページの内容に  
基づいて説明報告しました。役員は  
改選期に当たり、理事21名のうち4  
名が新任、1名が元理事、16名が現  
理事でした。監事3名のうち2名が  
新任、1名が現です。

この中で、会場から「第6号議案  
で『顧問』がないが、廃止になった  
のか」との質問があり、池本会長は  
「定款第19条で『顧問は会長がこれ  
を委嘱する』とあり、本日の総会で  
新会長が誕生します。新会長から報  
告することになっています」と回答  
しました。



最終的に審議内容については、第  
1号～3号議案は賛成多数、第4号～  
7号議案は賛成68名、反対5名とな  
り、全議案が承認されました。

#### ●理事会を開催一三役選出

この後、総会をいったん中断し、  
新役員による理事会が開催され、新  
会長に福田武(E02)氏、第1副会長に  
廣谷明(F12)氏、第2副会長に岡本清  
孝(H11)氏、第3副会長に水谷元也  
(E08)氏、事務局長に柴垣佳明(D33)  
氏が互選されました。

総会が再開され、新三役と新役  
員、新監事、そして顧問が紹介され、  
「平成28年度友電会通常総会」は閉  
会しました。

なお、質問などが相次ぎ、審議に  
時間を要して終了したのは理事会の  
延長を含め50分延長の午後1時前後  
でした。

# 大阪電気通信大学友電会

## 「平成28年度 通常総会」議事録

- ・日 時 平成28年6月18日(土)  
11:40～13:02
- ・場 所 大阪電気通信大学  
寝屋川キャンパス J-507
- ・総出席者数 554 名

### 【議案】

#### ■審議事項

1. 第1号議案 平成27年度事業報告
2. 第2号議案 平成27年度  
収支決算報告
3. 第3号議案 平成27年度一般会計  
剰余金処分案
4. 第4号議案 平成28年度事業計画案
5. 第5号議案 平成28年度収支予算案
6. 第6号議案 平成28年度役員案
7. 第7号議案 平成28年度評議員案

- ・出席者数 84名
- ・委任状提出者数  
Fax 63名、郵送(持参含)262名  
Web 145名 合計 470名

【成立条件】柴垣事務局長は、友電会定款第33条で「総会は、会員現在総数の200分の1以上出席…」とあり、平成28年4月1日現在総数49,132名で成立要件245名以上の出席が必要である。現在出席者数は84名、委任状470名、計554名で総会は成立しているとした。

司会の森石理事が議長への立候補を募ったところ、第2期の吉田榮治氏(F02)から立候補があり、議長を吉田氏に務めて頂くことで出席者全員に承認された。

### 【議事録確認者】

定款第36条で…「議事録は議長が作成し、議長および出席代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する」とあるので議事録署名者として下記の方に依頼することを決定した。

- ・議長 吉田 榮治氏
- ・大野 一廣氏 ・竹田 治英氏

### 【総会開始の遅れについて】

議事に入る前に、大角武紘氏(E01)より理事会は総会開始を15分遅らせて何も謝罪がないとの指摘があった。これに対して、池本会長は総会前の理事会

が長引き、総会開始が遅れたことを陳謝した。

### 【議事内容】

1. 第1号から3号議案までの審議  
・議長は、第1号議案から第3号議案までを一括審議すると述べ、議案の説明を求めた。

・藤田事業部長は、第1号議案の「平成27年度事業報告」について会誌125号10頁に基づき、教育懇話会・企業家同友会・ロボット講習会の実施や、大学への友電会50周年記念品の大型テレビ寄贈等について説明を行った。

・柴垣事務局長は、第2号議案の「平成27年度収支決算報告」について会誌125号11頁に基づき、ホームページリニューアル制作費や友電会50周年記念品の支出等について説明を行った。続いて、第3号議案の「平成27年度一般会計剰余金処分案」について、会誌125号12頁に基づき説明を行った。

### 監査報告

・平成27年度事業報告書および平成27年度収支決算書の監査報告の前に、議長は監査報告に守上監事の押印がないことについて、池本会長に説明を求めた。

・池本会長は、「昨年同様に守上監事からは適正意見を頂けず、押印がない。尼丁監事、澤井監事からは適正意見を頂き、押印がある」と述べた。

・また池本会長は、「定款第43条では『本会の決算は、会計年度終了後3か月以内に会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書、および会員の移動状況書とともに監事の意見を付けて理事会および通常総会の承認を受けなければならない』とされている。これは、監事の適正意見・非適正意見は総会において判断されることを意味する。従って、今年は守上監事の非適正意見、および尼丁監事・澤井監事の適正意見を会場に配布し、その後、皆様のご判断を仰ぎたい」と説明した。

・議長は、守上監事に非適正意見の監査報告の説明を求めた。

・守上監事は、「監査報告が承認できない理由は、定款違反をおかしているか

らである。臨時評議員会の開催申請を行ったが、経費がかかる等の理由で、臨時評議員会が開催されなかった。これは会長と監事の特権であり、絶対拒否できない。弁護士に聞いて、理事会で臨時評議員会を開催するかしないかを決めているが、このこと自体が違反行為で定款から外れている。今回だけではなく、前年のときにも、私が頼んだ臨時理事会では、こちらが用意した議題が議事に出されず、全然意味のない会議が開かれた。今年は、それではとんでもないことになるため、臨時評議員会を開催しようとした訳である。臨時評議員会を開かない場合は、臨時総会を開くことも考えたが、正常な理事会になってほしいとの思いがあり、それは抑えた。しかし、それでも臨時評議員会の開催を拒否したことについては、絶対に適正に運用されているとは判断できない。詳しいことは、本日配布された資料に載っている」と述べた。

・次に、議長は澤井監事と尼丁監事に適正意見の監査報告の説明を求めた。

・澤井監事は、監査の概要として「尼丁・澤井両監事は、平成27年度友電会理事会・評議員会に出席するほか、平成28年4月9日に会長・副会長・事務局長立合いのもと、監査報告書に記載の各資料等から業務、財産運用、会計処理等について調査及び聴取した」と述べた。

・続いて尼丁監事より、「監査の結果、平成27年度の友電会業務、財産運用、会計処理等は法令及び友電会定款に従い、いずれも適正に執行されていると認める。また、事業報告、収支決算報告、貸借対照表、財産目録は法令及び友電会定款に従い、適正に示されていると認める」との報告がなされた。

・また、尼丁監事は「守上監事指摘の定款違反とされている部分については、澤井監事と私は定款違反ではないと結





論付けた。ただし、定款違反とされる部分は、執行部として真摯に受け止め、きちんと対応できなかった部分もあった。今後は、このような指摘に対して真摯に対応するように要求し、池本会長よりその取り組みについてきちんとやるとの文書もらった」との報告が行われた。

・守上監事より、「改善するとの文書をなぜ私には貰えなかったのか」と池本会長に質問を行った。これに対して、池本会長は「尼丁・澤井監事から要求があったので、両監事に書類を提出した」と答えた。

・池田清氏(105)より、「監事は定款43条に基づいて監査報告をし、それを総会場で承認するかしないかの決議をすることになる。すでに、監査意見が出された訳だから、定款43条の通りに進めてください」との意見が出された。

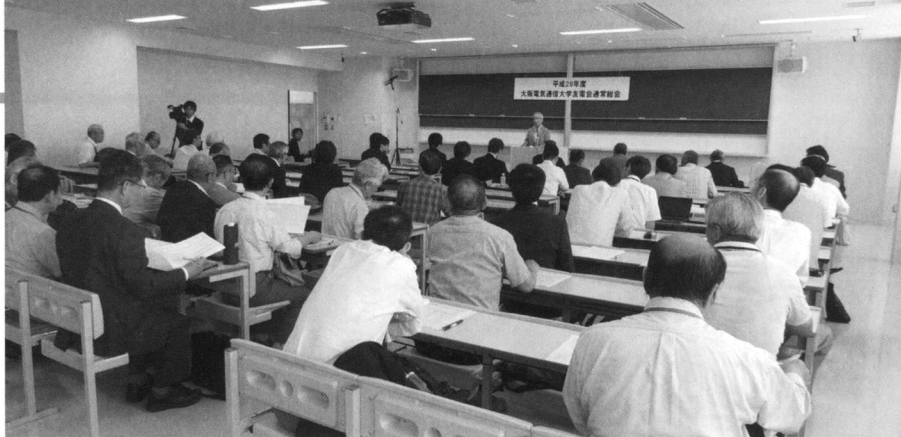
・ここで、議長は第1号から3号議案について会場に質問を求めた。

・大角 武紘氏(E01)は、「第2号議案の大学に寄贈した80型の4Kテレビについて、インターネットに載っている金額に比べて高いように思われる。OBの会社に協力を仰ぎ、発注する等の配慮はされたのか」との質問があった。

・これに対して、岡本副会長は3社から相見積もりを取り、一番安いところに発注を行った。なお、発注した会社は、アスカシステムというOBの会社であると答えた。

・井平佳秀氏(107)より、「総会議題、平成27年度友電会決算書の監査報告に、適正執行を承認する監事3名の内、1名の署名捺印がない。友電会定款及び慣習に従えば、監査報告は『監事3名の署名押印がなければ総会議案に出来ない』となっている。平成27年度総会議案等は監事3名の承認を受けておらず、定款および慣習に抵触しており、議題とはならず無効であり、平成28年度総会は成立しない。よって、友電会定款及び慣習に基づき、監査報告書に監事3名の署名押印を整え、改めて総会を開催するよう求める」との発言があった。

・議長は、「今の意見はご意見として賜った。監査報告そのものは終わり、時間的な関係もあるので、ここで監査報



告を含めて第1議案から第3議案までの採決を取る」と述べた。その後、賛成多数により第1議案から第3議案は承認された。

・大角武紘氏(E01)より、今後の議案の採決には賛成多数ではなく、賛成と反対の数を数えるよう提案がなされた。

## 2. 第4号議案から

### 第7号議案までの審議

・議長は、第4号議案から第7号議案までを一括審議すると述べ、議案説明を求めた。

・藤田事業部会長は、第4号議案の「平成28年度事業計画案」について会誌125号13頁に基づき、今年度も友電会企業家同友会による産学連携・企業間の交流活動と教育懇話会ともども活発化する。また、リニューアルしたホームページの内容を充実し、友電会はもとより大学の情報を掲載する等の説明を行った。

・柴垣事務局長は、第5号議案の「平成28年度収支予算案」について会誌125号14頁に基づき、有給職員雇用のための人件費を設けること、新たに設立される大阪支部の支部費を加えること等の説明を行った。

・池本会長は、第6号議案の「平成28年度友電会役員案」について、理事21名と監事3名は会誌125号15頁のとおりであると説明した。

・続いて、池本会長は第7号議案の「平成28年度友電会評議員案」について、本日公布している資料のとおり、新たに3名を加えた評議員計221名の案であると説明した。

・議長は、第4号議案から第7号議案について会場に質問を求めた。

・上杉靖男氏(E02)は、熊本地震に対する今年度の友電会の取り組みについて会長に質問した。池本会長は「九州支部では同窓生の安否確認をされ、その費用を友電会から支援することになって

いるが、その他についてはまだ具体的な計画はない」と答えた。

・これに関連し、森石理事は「これまで未見の災害は特例措置で扱われてきた。先ほどの理事会で、これを特例ではなく恒久的に支援できるように文書化することが決まった。これを機に支援策を検討していく」と述べた。

・中山顧問より「第6号議案で『顧問』がないが、廃止になったのか」との質問があった。これに対して、池本会長は「定款第19条で『顧問は会長がこれを委嘱する』とあり、本日の総会で新しい会長が誕生し、新会長から報告することになっている」と説明した。

・ここで、第4～7号議案について賛否を取り、賛成68名、反対5名で承認がされた。

・この後、新三役を選出するため、新役員による『平成28年度第3回理事会』が別室で開催された。

・第3回理事会終了後に議長は、福田武理事(E02)が新会長に選出されたことの報告を受け、福田新会長に新三役・顧問の委嘱について説明を求めた。

・続いて、福田新会長より挨拶が行われ、第1副会長に廣谷明理事(F12)、第2副会長に岡本清孝理事(H11)、第3副会長に水谷元也理事(E08)、事務局長に柴垣佳明理事(D33)が互選されたことを報告した。

・顧問については、これまでの6名に前会長の池本氏、元会長で元顧問の羽淵氏を加えた以下の8名を委嘱したいと述べ、同時に、賛成多数で承認された。

### ○顧問

白井 宏(E01)、猿渡 洋(F02)

羽淵 完俊(E01)新任(元)

宮本 公明(F03)、安 弘(F01)

中西 義一(E04)、池本 善一(E02)新任

中山 修(F06)

・最後に、議長はすべての議案が終了し、平成28年度通常総会を閉会すると宣言した(13:02)。

## 平成 28 年度友電会通常総会で

「伝統を継承し実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」がテーマ

### 大石利光新学長が「記念講演」

#### ●150 名が出席、熱心に耳傾ける

母校の新学長、大石利光先生による「伝統を継承し実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」のテーマでの記念講演会が、「平成 28 年度友電会通常総会」が開催された。平成 28 年 6 月 18 日(土)午後 1 時から、母校・寝屋川キャンパス J 号館(エデュケーションセンター)5 階の「J-510 号室」で開催されました。

会場には、母校教職員の OB 会「緑樹会」の会員、現職の母校関係の教職員、「クラブ同窓会」の会員、そして友電会会員など約 150 名が出席し、「母校の今後の教育方針」を中心とした講演だけに、熱心に耳を傾けていました。

講演会は、友電会理事会と友電会総会の審議が延びたため、定刻の午後 0 時 15 分を大幅に遅れての開催となりました。

#### ●4 項目に分けて講演

記念講演は、①はじめに(本学を取り巻く環境)、②教育の基本方針と「実学」の取り組みについて、③

今後に向けて重点施策、④最後に……の 4 つの項目に分けて行われました。

#### ●はじめに(本学を取り巻く環境)

「本学を取り巻く環境は非常に厳しい」としています。特に「2018 年問題」は特に深刻で、2018 年から「18 歳人口」が急激に減少します。2023 年には「12 万人減少」し、進学者は「6 万人減」となります。2027 年には「14 万人減少」し、進学者は「7 万人減」となります。

このほか、「補助金の削減」、「設備老朽化」(耐震工事)、「教育・研究機材の老朽化」、「教育体系の見直し」、「障害者差別解消法対応」など、厳しいものがあるとしています。

#### ●教育の基本方針と「実学」の取り組みについて

「教育の基本方針」として、「実学で『人間力』と『技術力』を培う大学」を目指すとし、「実学で未来を拓く」ことに重点を置いていく方針です。



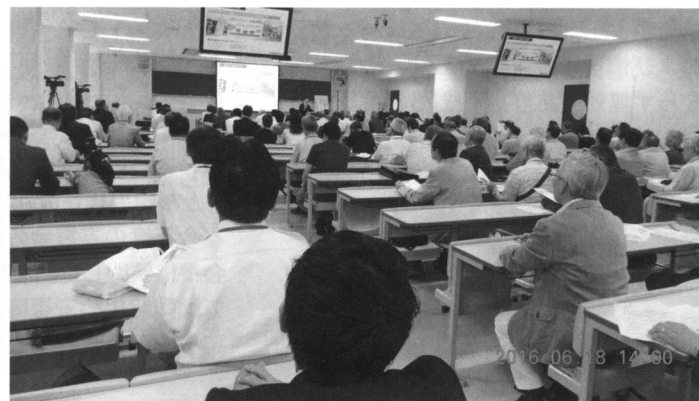
講演する母校の  
新学長・大石利光先生

「4 ステップの実学教育」は「ときめき」→「実践」→「感動」→「発展」とし、「少しの興味を大きな自信へと変えることができる大学」にしたいとしています。

学長は「教育基本 3 方針」(ポリシー)として、①「アドミッション・ポリシー」(入学者受け入れ方針)、②「カリキュラム・ポリシー」(教育課程編成方針)、③「ディプロマ・ポリシー」(学位授与方針)としています。

「アドミッション・ポリシー」については、「実学をベースに人間力と技術力を培う」ために、「基礎・専門・技能教育と人間教育の調和」をあげています。

「カリキュラム・ポリシー」につい



記念講演会の会場



# 『実学』の定義と教育の実質化

## 実学の3つの能力

全学のカリキュラム・ディプロマポリシー

### 【手】手が動かせる

与えられた／考えた課題に対して手が出せるチカラ

### 【頭】絵が描ける

自分の考えが具象化できる(図表化できる)チカラ

### 【心】コミュニケーションができる

人の考えが理解できる  
自分の考えを伝えられる

双方向の意思疎通と協働作業ができるチカラ

大阪電気通信大学



では、『実学』の定義と教育の実質化を「実学の3つの能力」とし、①『手』—手が動かせる—与えられた／考えた課題に対して手が出せる力、②『頭』—絵が描ける—自分の考えが具現化できる(図表化できる)力、③『心』—コミュニケーションができるチカラ…人の考えが理解できる、自分の考えを伝えられる力…としています。

つまり、「双方向の意思疎通と協働作業ができる力」ということになります。そのための、「母校の教育実践組織」と「自己点検・評価の仕組みと実施の周期」を紹介しています。

### ●今後に向けて重点施策

まず、「初年次教育」の重視について、「新入生プレイスメントテスト」の実施を挙げています。複数の学科にわたる共通の授業科目の習熟度に応じたクラス編成を行うことにしています。また、教員・仲間との親睦を兼ねた新入生の「宿泊研修」を実施します。

次に、「資格取得強化」をあげています。「各種資格取得サポート講座」を設けて、対応することになっています。また、各年次各学科の学業優秀

者を表彰する制度も実施します。

「教育改革」については、①「教育体制の見直し」—教育・研究組織の体系化、全学・学部の共通教育の見直し、②「自己点検評価のPDCAサイクルの構築—自己点検評価(IRE)委員会の常置化、③「機関情報分析(IR)システムの構築」—教育・経営・管理情報等の機関活動の情報収集と分析、④ガバナンス体制の強化—学校教育法の改正に対応した学内規制の整備、教学・運営組織における権限と責任の明確化—をあげています。

また、伝統的な『実学教育』の強みを生かした「教育方針・方法における改革」として、「18歳人口の急激な減少」に対応するため、「本学の特徴である『実学教育』に磨きをかけ強化する」としています。

そのために、①自己再生が可能な学修システムの構築、②学修効果の定着と満足度の向上に、③アクティブラーニング(AL)、プロジェクト型学修(PBL)の強化—を通じて、「卒業率の向上」「離学率の低減」「志願者の増加」につなげたいとしています。

このほか、「地域社会に信頼され貢献する大学の実現」も大切として

います。

「テクノフェア in 寝屋川」、「ねやがわクリーンロード」、「なわてん」、「一般市民公開の産学連携講座」など、多くの教職員・学生の活動は母校が地域社会に貢献する努力が広範囲で認知され、評価されているとしています。

### ●最後に……

「卒業後の進路(就職と進学)」について、「関西進路決定No.1を目指している」を目標にしています。

2014年度の母校の「進路決定率」は85.7%、「就職率」95.7%となっています。求人依頼企業は1万4100社を超え、「求人倍率」は17.92と全国平均1.73を大幅に上回っています。

今後は、「学内説明会参加企業」の増加と安定を図っていきたくとしており、就職面での強化を図っていくことにしています。また、「参加型学修の実演」については、「クリッカーを用いた参加型AL授業」を推進していくことにしています。

最後に、『鏡と窓の法則』—「成果が得られたときは窓から外を見て、成果をもたらした要因(人・組織)を見つけ評価する—ことが大切である」と結びました。



## 平成 28 年度大阪電気通信大学同窓会

# 「3 団体合同懇親会」 開催される

### ●合同懇親会

母校教職員の同窓会「緑樹会」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3同窓会は、平成28年6月18日(土)午後1時40分から、母校・寝屋川キャンパスJ号館(エデュケーションセンター)1階のレストランで「平成28年度合同懇親会」を開催しました。母校の教職員をはじめ名誉教授など教職員OB、大阪電気通信大学高等学校の校長など関係者、そしてクラブOB会会員、友電会会員、学生など約180名が参加し、盛大に開かれ、有意義な会合となりました。

### ●友電会の今年度の「テーマ」

本年度の友電会総会テーマは「友電会創立50周年」を折り返し、「新たなスタート『母校への貢献と恩返し』」です。「学園を取り巻くそれぞれの同窓会、後援会が母校の発展を願い、心をひとつにして様々な形で

母校に貢献していきたい」との願いが込められています。

### ●開会式

合同懇親会は藤田英治(E22)友電会理事の司会でスタート。まず、熊本地震で亡くなられた皆様をはじめ、大阪電気通信大学の関係者の物故者に対して黙とうをささげました。

続いて、岡本清孝(H11)友電会副会長の「ただいまより、緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3同窓会によります、平成28年度合同懇親会を開催します」との力強い開会宣言で開会しました。

まず、主催者の藤崎紘久(E01)緑樹会会長、今年度から会長に就任した竹田治英(F19)クラブ同窓会会長、そして友電会通常総会で会長に就任した福田武(E02)友電会会長の3氏がステージに上がり、紹介されまし

た。

クラブOB会の竹田会長は総会で岡本清孝(H11)会長(現友電会副会長)から引き継いで第4代会長となりました。友電会の福田会長は池本善一(E02)会長から引き継ぎ第12代会長に就かれました。

主催者を代表して福田友電会会長があいさつされました。

福田会長は「本日の友電会通常総会で会長に就任しました福田です」と前置きし、「3つの同窓会が合同で懇親会を開催することは、大変意義深いことだと思っています。多くの恩師も出席されており、学生時代の思い出話に花を咲かせ、そしてなによりも母校の将来を語り合い、母校の発展に協力していきたいと思います。本日は大いに楽しんでください」と語りました。

続いて来賓のあいさつとして母校





司会の藤田英治 (E22)  
友電会理事



あいさつする  
大石利光母校新学長



あいさつする  
成瀬淳母校理事長



あいさつする友電会の  
福田武 (E02) 会長



乾杯の音頭をとる石桁正士母校  
名誉教授



(左から) 竹田治英クラブ同窓会新会長、福田武友電会新会長  
藤崎紘久緑樹会会長

の大石利光学長は、「実は、私も今年度から学長に就任しました。友電会の福田会長とともに、新たなスタートを切りました」と語り、「先ほどの『伝統を継承し、実学教育で〈人間力〉と〈技術力〉を培う大学として』のテーマで講演しましたように、就職に強い大学を目指します。そのためにも、卒業生の皆様のご協力が必要です」と、母校発展への協力を要請しました。

お祝いの言葉として母校の成瀬淳理事長は、「本日はおめでとうございます。3つの同窓会が合同で懇親会を開催することは、皆さんの母校を預かる私としては大変心強いです。皆様の声を聞き、母校の発展に尽力してまいります」と述べられました。

#### ●懇親会

乾杯の音頭は緑樹会会長の石桁

正士名誉教授。「母校の発展のために乾杯しましょう」と前置きし、力強い「乾杯」の声に合わせ、全員で乾杯し懇親会がスタートしました。

しばらくは、吹奏楽団によります演奏を耳に、恩師そして旧友と杯を交わしながら学生時代の思い出話や、大石学長や成瀬理事長を囲んでの母校の今後について話し合うなど、有意義な会合となりました。

#### ●学生クラブの演技

司会は岡本友電会副会長に代わり、「合気道部、剣道部、柔道部による演武です。日頃の稽古の成果を披露して頂くことになっています」と紹介。

まず、合気道部から演武に入りました。司会1名、演武者7名で構成されています。

「合気道」とは「天地の“気”に合

する道」の意で、「二人一組の『約束組手形式』(何の技を使うか合意の元に行く)の稽古が中心であり、『取り(捕り)』(相手の攻撃を捌いて技を掛ける側)と『受け』(相手に攻撃を仕掛けて技を受ける側)の役を互いに交代しながら繰り返し行う」といわれています。

このほか、二教、三教、四教、五教、天地投げ、回転投げ、呼吸投げ、腰投げ、隅落し、合気投げ等の技があります。

会場では多くの技が披露され、会場から拍手がおくられました。

続いて剣道部は、司会1名、演武者9名で構成。

全日本剣道連盟によると、『剣道の理念』は「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」と定めています。また、「剣道は剣道具を着用し竹刀を用いて一対一で打突しあ



あいさつする大阪電気  
通信大学高等学校の  
大音博司校長



あいさつする大阪電気  
通信大学高等学校同窓  
会の北田由博会長代行



あいさつする  
藤崎紘久緑樹会会長



中締めのあいさつをする  
竹田治英クラブ同窓会会長



吹奏楽団 吹奏楽団の演奏にあわせ大学歌を斉唱



う運動競技種目とみられますが、稽古を続けることによって心身を鍛錬し人間形成を目指す『武道』です」としています。

会場では、いろんな技が披露され、拍手喝さいを浴びていました。

柔道部は、司会1名、演武者4名です。

柔道(じゅうどう)とは、『柔』(やわら)の術を用いての徳義涵養を目的とした芸道、武道のことである。現代では、その修養に用いられる嘉納治五郎流・講道館流の柔術技法を元にした理念を指して『柔道』と呼ぶことが一般化している。柔道は、投げ技、固め技、当身技を主体とする武術・武道、そしてそれを元にした社会教育的な大系となっている」といわれています。

会場では、多くの投げ技などが披露され、多くの声援が送られていました。

しばらく歓談の後、ギターマンドリンクラブによる演奏がありました。杯を片手にマンドリンの音色を楽しみました。

続いて、工学部環境科学科の「ベリーベリープロジェクト」の紹介がありました。同プロジェクトの7名の学生がプロジェクトの内容について説明し、受付で配布した「ラズベリークッキー」や会場での飲み物としておいてある「ラズベリーサイダー」は彼らが作成したものです。

会場では、クッキー、サイダーともに「おいしい」との声が聞かれ、楽しませていました。

#### ●来賓あいさつ

司会は藤田理事に戻り、来賓の紹介をしました。大阪電気通信大学高等学校の大音博司校長、大阪電気通信大学高等学校同窓会の北田由博会長代行、藤崎紘久緑樹会会長があい

さつしました。

しばらく歓談の後、吹奏楽団の演奏に合わせて「大阪電気通信大学大学歌」を全員で声高らかに斉唱しました。

#### ●閉会

クラブ同窓会の竹田新会長は、「本日はご出席ありがとうございます」とお礼を述べるとともに、「次年度の合同懇親会でお会いできることを楽しみにしています」と中締めの挨拶をしました。

次いで、「緑樹会と教職員」、「友電会第1期生から第5期生」、「友電会第6期生から第15期生」、「第16期生以降と学生」の順に記念撮影しました。

吹奏楽団が演奏する音楽に乗って、来年度の総会・合同懇親会での再会を約し、散会しました。





合気道部の演武



柔道部の演武



参加した  
合気道部、剣道部、柔道部の学生



ギターマンドリンクラブによる演奏



「ベリーベリープロジェクト」の内容を説明する同プロジェクトの学生



剣道部の演武



緑樹会年次報告会での  
出席会員の記念写真



藤崎紘久会長



「クラブ同窓会」の会長  
竹田治英(F19)氏

## 母校教職員OB会 「緑樹会の活動報告」

母校・教職員OB会「緑樹会」の藤崎紘久(E01)会長から、平成28年6月18日に母校・寝屋川キャンパスJ号館で開催された「緑樹会年次報告会」の報告がありました。以下は、藤崎会長からの投稿です。

緑樹会年次総会は平成28年6月18日(土)に大学寝屋川キャンパスJ号館で開催いたしました。当日の出席者数は26名でした。

報告会の冒頭に、昨年会長に就任した藤崎会長から昨年の経緯と緑樹会の今後の方向性などについての挨

拶があり、この後、昨年の活動報告、会計報告、役員改選等の報告があり、満場一致で承認されました。

また、自由討論の場では緑樹会の会員確保や活動内容についての活発な意見が出され、今後の会の活動にどのように取り入れるかが幹事の大きな仕事になります。

この後、大石新学長の講演をお聞きし、J号館1階レストランでの友電会、クラブ同窓会、緑樹会合同懇親会に参加、会員間のみならず友電会会員や現職教職員の方々と懇親を深めました。

この懇親会では友電会に多大なお世話を頂き、ここに厚く御礼申し上げます。

(記一緑樹会会長 藤崎紘久)

クラブ同窓会は平成28年6月18日(土)午前10時から母校・寝屋川キャンパスJ号館(エデュケーションセンター)の5階で開催した「平成28年度通常総会」で 新会長に竹田治英(F19)氏を選出しました。

岡本清孝(H11)会長(友電会副会長)からのバトンタッチで、竹田新会長は「これまでのクラブ同窓会の運営などを踏襲しながら、現役学生のクラブ活動を支援しつつ、母校の発展にも貢献できるような活動を展開していきたい」と抱負を語っています。

また、緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3団体による合同懇親会の席上、「クラブ同窓会旗・垂旗」を贈呈していただいた大角武紘(E01)氏を囲んで記念撮影をしました。

## 平成 28 年度友電会役員

### ●理事：21 名

#### ◆三 役

会 長 福田 武 (E02)

副会長 廣谷 明 (F12) 法人理事

広報担当

副会長 岡本 清孝 (H11) 法人評議員

組織・法人化委員会担当

副会長 水谷 元也 (E08)

事業担当

事務局長 柴垣 佳明 (D33)

総務・財務担当

#### ◆総務・財務部会

森石 峰一 (F14)

野田 鐘一 (F07)

藤田 英治 (E22)

中田 亮生 (D32)

#### ◆組織部会

志村 哲樹 (F07) 東海総支部長

山口 文男 (H07) 北関東支部長

小松 周治 (F06) 九州支部長

廣瀬 一夫 (F07)

#### ◆事業部会

川口 明良 (F04) 法人評議員

山崎 敏之 (F14)

内野 正道 (F12)

小林 守正 (H12)

#### ◆広報部会

吉田 祐三 (F06)

澤居比佐夫 (H17) びわこ支部長

段安 義彦 (F06) 京都支部長

辻 佳彦 (H13) 法人評議員

### ●監事：3 名

池田 清 (I05)

吉川 博史 (I05)

尼丁 正寄 (F08)

### ●現顧問：8 名

臼井 宏 (E01)

羽渕 完俊 (E01)

安 弘 (F01)

池本 善一 (E02)

猿渡 洋 (F02)

宮本 公明 (F03)

中西 義一 (E04)

中山 修 (F06)

### ●法人評議員：2 名

畝本 正一 (E07)

堀江健二郎 (H14)

## ■友電会支部と支部長

(支部名 支部長・卒業学科・期)

関東総支部 深野 隆司 (I09)

東海総支部 志村 哲樹 (F07)

大阪支部 平岡 臨 (I07)

北関東支部 山口 文男 (H07)

静岡支部 久保田陽一 (F05)

神戸支部 幸村 常一 (H16)

茨城支部 木村 功一 (F09)

びわこ支部 澤居比佐夫 (H17)

三田支部 小西 巖 (E02)

千葉支部 神山 清明 (H15)

京都支部 段安 義彦 (F06)

石川支部 辻 久也 (I13)

神奈川支部 田谷 利明 (F07)

奈良支部 松井 俊樹 (I13)

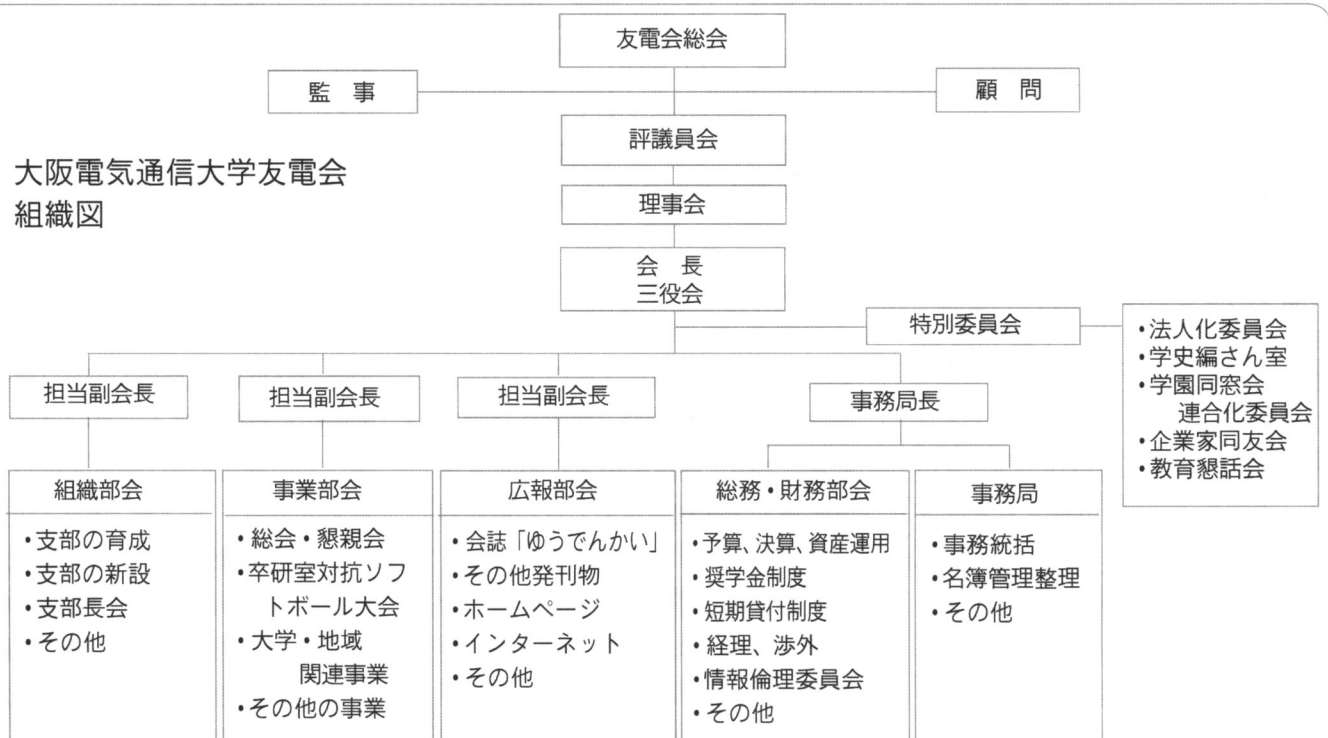
九州支部 小松 周治 (E06)

北米支部 高岸 英人 (F17)

各支部の情報は友電会ホームページで

<http://www.yudenkai.org/>

## 大阪電気通信大学友電会 組織図





## 平成28年度友電会評議員

平成29年1月現在220名

## 〔第1期生〕

青木 政治 (E01)  
大角 武紘 (E01)  
大塚 敏兼 (E01)  
白岩 義則 (E01)  
西原 正明 (E01)  
羽淵 完俊 (E01)  
藤崎 紘久 (E01)  
堀中 英昭 (E01)  
宮崎 孝 (E01)  
臼井 宏 (E01)  
安 弘 (F01)  
國次 茂 (F01)  
野村 康明 (F01)

## 〔第2期生〕

桜木 親房 (E02)  
池本 善一 (E02)  
上杉 靖男 (E02)  
小西 巖 (E02)  
谷口 一雄 (E02)  
福田 武 (E02)  
藤野 雅也 (E02)  
猿渡 洋 (F02)  
本田 頌次 (F02)  
吉田 榮治 (F02)

## 〔第3期生〕

稲垣 肇 (E03)  
富田 淳一 (E03)  
石本 時堯 (E03)  
井上 徹 (E03)  
竹本 信之 (E03)  
成子 一誠 (E03)  
原 一夫 (E03)  
中島 俊一 (E03)  
野田 哲治 (F03)  
菅野 和夫 (F03)  
辻 喜代克 (F03)  
廣沢 洋 (F03)  
三橋 長夫 (F03)  
宮本 公明 (F03)

## 〔第4期生〕

辻 勝久 (E04)  
北森 弘樹 (E04)  
中西 義一 (E04)  
観野福太郎 (E04)  
藤原 公彦 (E04)  
大下真二郎 (F04)  
川口 明良 (F04)  
中島 良造 (F04)  
藤田 順彦 (F04)

## 〔第5期生〕

木村 正彦 (E05)  
中尾 稔 (E05)

中野 正三 (E05)  
守上 芳士 (E05)  
岩本 吉男 (F05)  
大野 一廣 (F05)  
尾方 康祐 (F05)  
久保田陽一 (F05)  
山口 朝弘 (F05)  
御崎 正吾 (G05)  
木村 幸治 (G05)  
香西 順治 (G05)  
坂上 晃一 (G05)  
高岡 亨 (G05)  
玉置 寛 (G05)  
堀内 定夫 (G05)  
堀井 浩 (G05)  
薮野 美律 (G05)  
池田 清 (I05)  
吉川 博史 (I05)

## 〔第6期生〕

奥村 義美 (E06)  
兵藤 敏夫 (E06)  
吉岡 睦 (E06)  
段安 義彦 (F06)  
吉田 祐三 (F06)  
金谷 武美 (F06)  
小松 周治 (F06)  
田中 稻夫 (F06)  
中山 修 (F06)  
湯場崎直養 (F06)  
大下正二郎 (G06)  
森川 佳有 (G06)  
北川 昇 (H06)  
大川 恒一 (H06)  
阪本 和夫 (H06)  
松伏 正隆 (H06)  
横道 一雄 (H06)  
前田 實 (I06)  
荒木 秋男 (I06)  
国松 敬三 (I06)  
藤本 明 (I06)

## 〔第7期生〕

稲原 廣法 (E07)  
五條 純一 (E07)  
宿谷 幸男 (E07)  
宮本 常德 (E07)  
畝本 正一 (E07)  
蟬 正敏 (F07)  
志村 哲樹 (F07)  
田谷 利明 (F07)  
寺田 豊 (F07)  
野田 鐘一 (F07)  
長谷川 洋 (F07)  
廣瀬 一夫 (F07)

吉田 博由 (F07)  
中口 武 (G07)  
松本 好史 (G07)  
一谷 醇 (H07)  
田甫佐雅博 (H07)  
丹羽 弘己 (H07)  
山口 文男 (H07)  
井平 佳秀 (I07)  
平岡 臨 (I07)

## 〔第8期生〕

相羽 政信 (E08)  
石川 智之 (E08)  
水谷 元也 (E08)  
尼丁 正寄 (F08)  
藤井 修逸 (F08)  
幸田 秀雄 (G08)  
鎌谷 英一 (H08)  
新垣 忠克 (H08)  
中出 知伸 (I08)  
宇野 茂嗣 (I08)  
船越 亨 (I08)

## 〔第9期生〕

木村 功一 (F09)  
宮崎 一幸 (F09)  
栗栖 敏朗 (F09)  
大音 博司 (G09)  
岡川 正寛 (H09)  
下野 哲生 (H09)  
森 和明 (H09)  
工藤 英男 (I09)  
平林 一夫 (I09)  
深野 隆司 (I09)

## 〔第10期生〕

井野川 一 (E10)  
北地 憲治 (E10)  
山崎 貞彦 (E10)  
赤木 俊雄 (G10)  
山崎洋一郎 (H10)  
佐藤 涉一 (I10)

## 〔第11期生〕

松田 啓 (F11)  
佐脇 弘泰 (G11)  
鬼原 治紀 (G11)  
小舟 定行 (G11)  
岡本 清孝 (H11)

## 〔第12期生〕

内野 正道 (F12)  
廣谷 明 (F12)  
秋田 良八 (H12)  
恩智 博司 (H12)  
小林 守正 (H12)

## 〔第13期生〕

朝田 健嗣 (E13)

榊原 秀之 (H13)  
辻 佳彦 (H13)  
松井 俊樹 (I13)  
辻 久也 (I13)

## 〔第14期生〕

森石 峰一 (F14)  
山崎 敏之 (F14)  
倉中 宏 (G14)  
津本 雅章 (H14)  
堀江健二郎 (H14)  
細川 雅巳 (I14)  
田中 二郎 (I14)

## 〔第15期生〕

森蔭 剛久 (E15)  
小寺澤隆司 (E15)  
江畑 栄二 (F15)  
宮條 研次 (F15)  
皆川 重裕 (G15)  
神山 清明 (H15)  
沖 洋一 (I15)  
山下 友彦 (J15)

## 〔第16期生〕

岡本 宣正 (E16)  
渡辺 員行 (E16)  
幸村 常一 (H16)  
島田慎太郎 (H16)

## 〔第17期生〕

園田 和之 (F17)  
國友 志保 (F17)  
高岸 英人 (F17)  
澤居比佐夫 (H17)  
元花 修 (H17)  
松江 宏 (I17)

## 〔第18期生〕

田中 庸介 (E18)  
生駒 京子 (I18)  
加藤 常員 (I18)

## 〔第19期生〕

竹田 治英 (F19)

## 〔第20期生〕

奥田 裕 (H20)  
阪井 誠 (H20)  
中川 雅弘 (H20)  
中前 浩也 (H20)

## 〔第21期生〕

坂本 充 (H21)

## 〔第22期生〕

藤田 英治 (E22)

## 〔第23期生〕

熊谷 寿倫 (F23)  
竹内 和生 (I23)  
蕭 烟森 (K23)  
三砂 博一 (K23)

## 〔第24期生〕

澤井 剣 (G24)  
廣瀬 修一 (G24)

## 〔第25期生〕

渡部 孝 (G25)  
松浦 信夫 (H25)  
井口 兼彦 (H25)

## 〔第26期生〕

西尾 博道 (F26)

## 〔第27期生〕

奥泉 大輔 (H27)

## 〔第28期生〕

早野 秀樹 (E28)  
清水 良 (F28)

## 〔第29期生〕

伏本 和人 (I29)  
井内 友昭 (M29)  
森 和義 (M29)  
松尾 賢一 (M29)

## 〔第30期生〕

大野 守 (M30)

## 〔第31期生〕

新川 拓也 (M31)

## 〔第32期生〕

中田 亮生 (D32)  
櫻木 嘉典 (E32)

## 〔第33期生〕

柴垣 佳明 (D33)

## 〔第35期生〕

山村 友律 (J35)

## 〔第36期生〕

金野 洋明 (M36)  
長谷川慎二 (G36)

## 〔第38期生〕

阿南 景子 (D38)

## 〔第39期生〕

澤田 正雄 (P39)

## 〔第40期生〕

三上 哲夫 (M40)

## 〔第41期生〕

越野八重美 (L41)  
西川 達也 (M41)

## 〔第44期生〕

村上 豊裕 (G44)

## 〔第45期生〕

竹中 浩之 (F45)

## 〔第48期生〕

中島 拓哉 (E48)

## 〔第49期生〕

辻 琢磨 (D49)

## 〔第50期生〕

嶋村 拓都 (M50)

## 新卒業生・新入学生の皆さんへ

### 同窓会組織 「友電会」の活動・運営

「大阪電気通信大学と緊密に連繋を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図るとともに教育、学術、文化の発展に寄与する」（友電会定款第4条）－ことを目的に友電会は大阪電気通信大学の同窓会組織として第1期生が卒業した昭和40年に設立されました。

平成28年度で52年目を迎え、正会員数も今年度卒

業の第52期卒業の皆さんを加えますと約4万9000名を上回る大所帯になります。同窓会活動の基盤となる支部は近畿圏の主な府県をはじめ関東、東海、九州などに設置し、支部活動を展開しています。

ここでは、同窓会組織「友電会」の事業・活動を紹介します。一読され、友電会の事業・活動を理解していただき、積極的な参画と協力をお願いします。

#### ■事業部会



「第39回卒研対抗ソフトボール大会」(昨年(平成28年)8月・寝屋川キャンパス・グラウンドで)

事業部会は友電会本部総会・懇親会、卒研室対抗ソフトボール大会などを担当しています。

まず、卒研室対抗ソフトボール大会は平成28年度で第39回目を迎えます。昨年8月開催の大会には18チーム約250名の学生・先生が参加、学内では最大規模の恒例行事になっています。

##### 【活動内容】

- ・総会・懇親会
- ・卒研室対抗ソフトボール大会
- ・その他の事業

また、友電会本部総会は、友電会の最高決議機関であり、最も重要な行事であると同時に懇親会は会員相互、恩師との交流の場にもなっています。

#### ■総務・財務部会

総務・財務部会は、定款の第37条から第45条で規定されている友電会における資産および会計、具体的には予算・決算、資産運用、奨学金、短期貸付、経理などの業務を担当しています。ただし、実際の日々事務処理業務は友電会事務局において処理されています。また、収支決算およ

び予算、貸借対照表に基づく資産状況については、毎年公認会計士の指導の基に作成したのち、友電会監事による監査を経て6月の友電会総会に報告して承認をもらっています。

なお、急にお金が必要な場合は学生課をたずねてください。友電会の短期貸付制度を利用することができ

##### 【活動内容】

- ・予算、決算、資産運用
- ・奨学金制度
- ・短期貸付制度
- ・経理 ・渉外 ・その他

ます。また、奨学金についても友電会では充実をはかっており、詳しくは学生課に相談して下さい。

#### ■友電会理事会・評議員会

理事会は友電会の執行機関であり、定款に定める予算、事業の計画などの事項に対する審議議決と執行、また総会の計画運営、総会より委任された事項の議決に対する執行を行うところです。理事会が執行する案件で、重要と会長が認めた事項

に加えて、定款第26条に規定されている事業計画および収支予算、ならびに事業報告、収支決算、さらに財産の処分などについては評議員会の承認を得なければなりません。

また、理事会は年6回、評議員会は年3回開催しています。

理事会は10名以上21名以内の理事で構成すると定款で規定。現在は福田武会長のもと21名の理事で構成され、日々事項の決定と執行にあたっています。評議員は220名(平成29年1月現在)で、理事会からの諮問に応じています。



## ■広報部会

本誌「ゆうでんかい」の編集とホームページの編集が主な活動です。

会誌は5月(総会通知号)、3月(新卒業生・新入生特集)など年2回、発行しています。

ホームページは友電会のニュースを中心に母校学園や学生の動向などを掲載しています。会誌とホーム

### 【活動内容】

- ・会誌「ゆうでんかい」
- ・その他発刊物
- ・ホームページ
- ・その他

ページとをリンクしています。ホームページでは速報性を重視し、会誌はじっくりと読んでもらうことを中心に編集しています。

## ■学史編さん室

学史編さん室は、「同窓会から見た大学の歴史」の編さんに取り組んでいます。母校の草創期からの『母校の歩み』を中心に、その当時のことを先生や教職員の方々にインタビューなどを通じて『記録』していくことにしています。

## ■組織部会

支部活動は同窓会活動の基礎であり、組織部会では支部の育成・活性化と新設に力を入れて取り組んでいます。現在、国内外に16支部(「友電会の支部」参照)があり、それぞれ独自の事業・活動を展開しています。支部活動は、同窓会活動の『基礎』であり、機会あるごとに「全国支部長会」を開催し、支部間の情報交換や活性化のための意見交換をしています。

各支部では、新卒業生の参画を大歓迎しています。支部については本部事務局に問い合わせください。また友電会ホームページには支部総会

### 【活動内容】

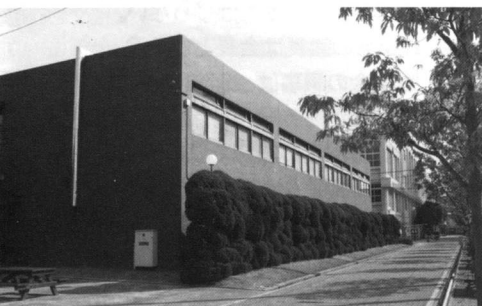
- ・支部の育成・活性化
- ・支部の新設
- ・支部長会
- ・本部はもとより支部の総会支援
- ・その他

の日程などを掲載しています。さらに、在学生の参画も呼びかけています。在学生時からOBとの交流がはかれるようにしています。支部総会懇親会などへの参加を大歓迎しています。



友電会では支部の活性化と新設に力を入れています(昨年・平成28年12月10日に開催された「大阪支部の設立総会」写真は親睦会の光景)

## ■友電会事務局



友電会事務局は、寝屋川キャンパスP号館1階にあります。月曜日から金曜日の午前10時から午後4時00分まで開いています。気楽にお訪ねください。また、母校学園の教職員OB会「緑樹会」と同居しています。

友電会事務局は寝屋川キャンパスのP号館1階にあります。事務局には常時事務員がおり、友電会の事務一般を処理しています。

友電会理事会および評議員会などの会議の案内や議事録作成および発送業務、会員名簿の整理更新処理および財務理事の指揮下での財産管理と財務会計処理業務であります。

事務局では、理事会・評議員会の円滑な運営と理事・評議員の活動しやすい形での支援をするとともに、

### 【活動内容】

- ・友電会活動の円滑な運営に伴う事務処理全般
- ・会議の運営および財産管理と会計処理業務

約4万9000名の会員と在学生(準会員)への支援サービスを行うことをモットーに業務に従事しています。

会員の皆様には、住所等の変更が生じましたなら事務局までご一報下さいますようお願いいたします。

## 大阪電気通信大学 友電会定款

### 第 1 章 総 則

第 1 条 本会は大阪電気通信大学友電会と称する。

第 2 条 本会は事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号大阪電気通信大学内に置く。

第 3 条 本会は理事会の議決を経て支部を設けることが出来る。支部設置規則は、この定款の細則として別に定める。支部には支部長を置く。

### 第 2 章 目的および事業

第 4 条 本会は大阪電気通信大学と緊密に連繋を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図ると共に教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする。

第 5 条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- ①研究発表会、講習会、座談会等の開催
- ②機関誌、その他の刊行
- ③大阪電気通信大学発展のための事業
- ④会員相互の親睦と連絡
- ⑤その他、目的を達成するための事業

### 第 3 章 会 員

第 6 条 本会の会員は次の通りとする。

#### ①正会員

学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部、大学院を卒業、または修了した者で、卒業時あるいは修了時まで所定の入会金および会費を納めた者

#### ②準会員

学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に在籍している学生で、所定の入会金を納めた者

#### ③特別会員

学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に専従する教職員である者

#### ④賛助会員

本会の目的に賛同し、その事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人または団体

#### ⑤名誉会員

本会の目的達成に多くの貢献を

した者で理事会の決議を経て推薦された個人

第 7 条 会員は総会を組織し、総会の議決に加わる。

2、会員は本会の目的事業の遂行に積極的に協力するとともに、本会の会員としてふさわしくない行為をしてはならない。

3、会員は本会の行う事業に対し、優先的にその利益を受けることが出来る。

第 8 条 会員は次の理由によりその資格を喪失する。

- ①脱 退
- ②死亡および失跡宣言
- ③除 名

第 9 条 会員が次の各号の一に該当するときは総会の議決を経て、会長がこれを除名することが出来る。

- ①本会の会員としての義務に違反したとき
- ②本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為があったとき

第 10 条 既納の入会金および会費等はいかなる理由があっても、これを返還しない。

### 第 4 章 役員、評議員、顧問および職員

第 11 条 本会には次の役員を置く。

理事 10 名以上 21 名以内（うち会長 1 名、副会長 3 名、事務局長 1 名を含む）。

監事 3 名。

理事および監事は評議員会で選出し総会で承認を得る。

理事は互選で会長 1 名、副会長 3 名、事務局長 1 名を決める。理事は会長の指名により財務担当をはじめとする会務を分担する。

監事は理事を兼任出来ない。

第 12 条 会長は本会の業務を総理し本会を代表する。

2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または欠けたときは会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

第 13 条 理事は理事会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項は議決し、執行する。

第 14 条 監事は民法第 59 条の職務を行う。

第 15 条 本会の役員の任期は 2 年とする。ただし再任を妨げない。

2、補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。

3、役員はその任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を行う。

4、役員は本会の役員としてふさわしくない行為があった場合、または特別の事情があった場合には、その任期中であっても理事会の議を経て評議員会の議決により、会長がこれを解任することが出来る。

第 16 条 役員は有給とすることが出来る。

第 17 条 本会には評議員を若干名置く。

2、評議員は評議員会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項を議決する。また理事会の諮問に応ずる。

3、評議員の任期は 2 年とする。ただし再任は妨げない。

第 18 条 本会の評議員は次の通りとする。

- ①正会員のうちから卒業年度別に総会または理事会で選出された者
- ②支部長

第 19 条 本会には理事会の議決により顧問を若干名置くことが出来る。

2、顧問は会長がこれを委嘱する。

3、顧問は会長の相談に応ずる。

第 20 条 本会の事務を処理するため、事務局を設け職員を置くことが出来る。

2、職員は会長が任免する。

3、職員は有給とする。

### 第 5 章 会 議

(理事会)

第 21 条 理事会は毎年 6 回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた場合または理事現在総数の 3 分の 1 以上、あるいは監事から会議の目的たる事項を示して請求のあった時は、ただちに会長は臨時理事会を招集しなければならない。

2、理事会の議長は会長とする。

第 22 条 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、理事現在総数の 2 分の 1 以上出席し、その出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2、理事は理事会を欠席する場合、あらかじめ書面をもって意見を表明しなければならない。

3、理事の委任状は出席者とみなされない。ただし、支部長が理事を兼ねた場合に限り、当該支部の役員で、理事でない者が委任状を持参のうえ、代理として出席し、議決と執行に加わることが出来る。



(評議員会)

第23条 評議員会は毎年3回会長が招集する。ただし会長または監事が必要と認めたとき、または評議員現在総数の2分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、会長はその請求のあった日から20日以内に評議員会を招集しなければならない。

第24条 評議員会の議長は会議のつど評議員の互選で決める。

第25条 評議員会の招集は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第26条 次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員の意見を聞かなければならない。

①事業計画および収支予算案、ならびに事業報告および収支決算についての事項

②不動産の買入れ、または基本財産の処分についての事項

③その他、本会の業務に関する重要事項で会長において必要と認めた事項

第27条 評議員会は評議員現在数の5分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決することは出来ない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は、出席者とみなす。

第28条 評議員会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会)

第29条 通常総会は毎年1回、会計年度終了後90日以内に会長が招集する。

2、臨時総会は理事会または監事が必要と認めたとき、ただちに会長がこれを招集しなければならない。

第30条 会長は会員現在総数の10分の1以上から会議に付議すべき事項を示して、総会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に臨時総会を招集しなければならない。

第31条 総会は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第32条 次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

①事業報告および収支決算ならびに事業計画および収支予算

②財産目録および貸借対照表

③その他理事会において必要と認めた事項

第33条 総会は、会員現在総数の100分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決をすることが出来ない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。

第34条 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第35条 総会の議事の要項および議決した事項は会員に通知する。

第36条 総会、理事会および評議員会の議事録は議長が作成し、議長および出席代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する。

## 第6章 資産および会計

第37条 本会の収入は次の通りとする。

①入会金および会費

②事業に伴う収入

③資産から生じる果実

④寄付金品

⑤その他の収入

第38条 本会の資産を分けて、基本財産および運用財産の2種類とする。

2、基本財産は、別紙財産目録のうち、基本財産の部に記載する資産および将来基本財産に編入される資産で構成する。

3、運用財産は、基本財産以外の資産とする。ただし、寄付金品であって、寄付者の指定するものはその指定に従う。

第39条 本会の資産は、理事会の決議によって会長が保管する。

2、基本財産のうち、現金は理事会の決議によって確実な有価証券を購入するか、または定額郵便貯金とし、もしくは確実な銀行に信託するか、あるいは定額預金として会長が保管する。

第40条 基本財産は処分し、または担保に供してはならない。ただし本会の事業遂行上、やむを得ない理由があるときは、理事会および総会の議決を得、その一部に限り処分し、担保に供することが出来る。

第41条 本会の事業遂行に要する費用は入会金、会費事業に伴う収入および資産が生ずる果実等の運用財産を

もって支弁する。

第42条 本会の事業計画およびこれに伴う収入予算は毎年会計年度開始前に会長が編成し理事会の議決および総会の承認を受けなければならない。なお、事業計画およびこれに伴う収支予算を変更した場合も同様とする。

第43条 本会の決算は、会計年度終了後3ヵ月以内に会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書および会員の異動状況書とともに監事の意見をつけて理事会および通常総会の承認を受けなければならない。

2、本会の決算に剰余金があるとき、理事会の議決および総会の承認を受けて、その一部もしくは全部を基本財産に編入し、または翌年に繰越すものとする。

第44条 収支予算で定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事会および総会の議決を経なければならない。

第45条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

## 第7章 定款の変更ならびに解散

第46条 この定款は、理事会および総会のおの5分の3以上の議決を経なければ変更することが出来ない。

第47条 本会の解散は、理事会および総会のおの4分の3以上の議決を経なければならない。

第48条 本会の解散に伴う残余財産の処分は理事会および総会のおの4分の3以上の議決を経てから大阪電気通信大学学長の許可を受けて、本会の目的に類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

## 第8章 補則

第49条 この定款施行についての細則は、理事会および評議員会の議決を得て別に定める。

第50条 昭和48年11月1日施行  
昭和52年5月29日改正  
昭和55年6月29日改正  
昭和57年6月27日改正  
平成3年6月30日改正  
平成5年6月27日改正  
平成7年6月25日改正  
平成13年6月23日改正  
平成16年6月26日改正

母校では平成28年11月5日(土)午後3時から寝屋川キャンパスの「エデュケーションセンター」(J号館)6階の小ホールで「ホームカミングデー2016」を開催しました。当日は大学祭期間中ということもあり、約200名が参加し盛り上がりました。式典の後、記念講演会や母校教職員OB3名による近況報告会などがあり、最後にZ号館3階の学生ホールで懇親会、グラウンドをスクリーンにした「プロジェクションマッピング」の上映がありました。



## 母校が「ホームカミングデー2016」開催

### 約200名が出席 記念講演会や教職員OB3名「近況報告」

#### ●「ホームカミングデー2016」式典

午後3時から寝屋川キャンパス「エデュケーションセンター」(J号館)6階の小ホールで「ホームカミングデー2016」の式典が開催されました。この催しは「卒業生を招いて、恩師や同窓生同志が旧交を温めるとともに、母校の近況を知ってもらう」のが目的で、今回で5回目を迎えました。

式典は池宮達雄大学事務局長の司会でスタートしました。

大石利光学長は卒業生に参加への感謝の気持ちを表すとともに、「これまで大事にしてきた開学の精神と実学に磨きをかけていくとともに、教職員一同が改革に取り組んでいきたい」とし、卒業生の協力を要請しました。

次いで大学祭実行委員長の森本舜介氏は、「現在、大学祭の期間中です。どうぞ、学生時代を思い出して、大学祭を楽しんでってください」と述べました。

式典のあとは、記念講演会と母校教職員OB3名による「近況報告」です。

#### ●記念講演会

母校・卒業生の医療福祉工学部長の新川拓也(K29)教授が「教育現場から見た大阪電気通信大学」というテーマで講演を行いました。

新川教授は母校の大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程を1999年に満期退学、同年に博士(工学)の学位を取得しました。

1995年に母校の事務職員になり、2001年に工学部(1部)医療福祉工学科の講師に2004年に医療福祉工学科の講師になり、2006年に助教授、2007年に準教授、2011年に教授に昇格しました。

取り組んでいる研究は「生活支援工学」「医用工学」で、「障がい者と健常者がともに遊戯できるエンタテインメント機器の開発」「ドライマウス・ドライアイの診断支援装置の開発」などに当たっています。

講演では、母校の歴史に触れた後、「大阪電気通信大学で実現したいことランキング」として、

- ・専門学力を身につけたい 32.5%
- ・就職できる力を身につけたい 22.6%

- ・資格を取得したい 17.0%
- ・教員免許を取得したい 8.4%
- ・もの作りや製品制作に没頭したい 4.9%

となっています。

つまり、「社会人基礎力」、「専門知識」、「資格」にまとめることができ、「適応力のある社会人」を目指していることができます。

「変わる学生気質」では、「攻め」—ある程度目的を定めて、自ら進んで知識や人脈を得ようとする、「探索」—ある程度分野を定めて、与えられた方法で自ら目的や知識、人脈を探る、「受け」—目的や知識、人脈が与えられるのを待つ—ということになります。



記念講演会で講演する医療福祉工学部長の新川拓也先生(右ページの写真も)





「NOと言える/言えないか」が両極端、「友達に優しい」、「心が折れる」、「癒し」、「静かな自己主張」、「まじめ」、「怒られることを非常に恐れる」というのが現在の気質のようです。

最後に、「この笑顔のために頑張ります」ースクリーンには、笑顔が満載の写真集「医療福祉工学部医療福祉工学科 10期生 懇親会」の看板が掲げられていました。

#### ● 母校教職員 0B3 名の「近況報告」

0B教職員3名による「近況報告」では、石桁正士名誉教授、藤崎紘久名誉教授、新宅寛氏にステージへあがっていただき、在職中の懐かしい思い出話をはじめ、趣味や現在の取り組みについてお話していただきました。

#### ◆ 石桁正士名誉教授

石桁正士先生は総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科の先生として、平成19年まで35年間にわたって教鞭をとりました。

「定年1年後の平成20年に、緑樹

⑤司会を務める池宮達雄大学事務局長  
⑥あいさつする母校の大石利光学長  
⑦あいさつする大学祭実行委員長の森本舜介氏

会の小川会長から、会長をやれといわれ、引き受けました。平成26年には、こちらにおられる藤崎先生にバトンタッチしました」とし、教職員の0B会としてはユニークな会で、他の大学では少ないようです。

趣味としては、「私は研究会大好き人間です」とし毎月、いくつかの研究会に出ているそうです。「やる気研究会」と「やる気ビジネス研究会」は毎月第4日曜日に、「情報教育学研究会」は第3日曜日にといった具合です。

また、毎週2句、朝日新聞の俳壇に投句しています。ここ6年間は落選中ですが、これからもチャレンジしていくそうです。

「元気に毎日暮らせることは、最高に幸せなことです。よい大学に勤

めることができたことは、最高の人生です」の言葉で締めくくりました。

◆ 藤崎紘久名誉教授  
藤崎紘久名誉教授は「退職して3年その後の近況報告」のテーマで話されました。先生は工学部電気電子工学科の先生



「近況報告」する母校教職員 0B3 名  
(左から新宅氏、石桁先生、藤崎先生)

として平成25年定年まで48年間にわたり教鞭をとられました。

定年退職の4～5年前から退職後の過ごし方についての方針を考えていました。今年105歳になられる聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生が、小学生への講演で、「10歳までは時間を自分を成長させるために使いなさい。それ以後はほんの少しでも他人のために使いなさい」と話されているのを聞き、ボランティアと趣味とバランスを取りながら活動できれば、と考えるようになりました。

このような時に研究室の卒業生から「子供たちのロボット講習会を手伝ってほしい」との話があり、ボランティアでお手伝いすることになり、新たな人たちとの交流の場ができました。

また、趣味としては「ニッコールクラブ堺支部」に入会することで写真の作品作りを指導していただける人たちとの交流の場ができました。

さらに、平成27年大学の「緑樹会」会長になり、退職の方々との交流の場が広がりました。この他にも、友電会、研究室の卒業生、硬式野球部の選手たち、ゴルフ仲間、小学校、高校の同窓会など多くの人たちとの交



2016.11.5 16:19



母校OBの3人組  
「ザ・ブルー・サンダーボーイズ」

流があります。

最後に藤崎先生は、「これからも、ボランティアと趣味とのバランスを取りながら、多くの人たちと元気で交流できることが人生の最大の歓びと思っています」の言葉で結びました。

#### ◆新宅寛氏

新宅寛氏は昭和37年から平成18年まで、47年間にわたって学生部に勤めてこられ、「学生部次長」として退職されました。

「昭和45年から同50年ころには、学生の60～70%がクラブに所属していました。学生の活動が最も活発なところで、その当時、学生会館や生協、部室の建設などが思い出されます」と、当時を懐かしむように語られました。

「電通大に来てよかった」と言われる大学になってほしい、と語り、「お手伝いしたいと思っています」と述べられました。

退職後は、通信制の「相生学院高等学校」の創設に関わり、平成20年、相生市に本校を開設しました。当時「少子化時代に生徒は集まるのか、中退する生徒をどうするのか」といった課題に直面していました。なんとか、株式会社として高等学校開設にこぎつけました。

まず、「文武両道」になるよう努めてきました。その甲斐があって岩手国体でテニスが優勝、ボクシングも



懇親会の光景

高校総体でバンタム級が優勝するなど、好成績を納めるまでに成長しました。

新宅氏は今年7月で70歳になったのを機に、「これからは、自分のために時間を使いたい」との理由から、相生学院高校理事を退職されました。

#### ●懇親会

「ホームカミングデー2016 懇親会」は午後5時から、寝屋川キャンパスZ号館3階の生協レストランで約150名が参加して開催されました。

懇親会は放送研究会部員の司会でスタートしました。

大石利光学長は、「本日は多くの卒業生の皆さんに集まっていたいただき、ありがとうございました。皆さんの母校を預かる者として、今後は発展させるよう教職員一同が一致して頑張っていきます」と語り、卒業生の協力を要請しました。

次いで友電会の福田武会長は、「私たちの母校の発展のため、卒業生団体の友電会としても最大限の協力をしていきたいと思います」と述べました。

母校の副学長の森幸治先生の乾杯の音頭で、懇親会の開宴となりました。

杯を交わしながら、母校の発展などについて話し合うなど、和んだ雰囲気です。



懇親会であいさつする  
友電会の福田武会長



乾杯の音頭をと  
る森幸治副学長

会場では、母校OBの3人組「ザ・ブルー・サンダーボーイズ」による「フォークソング&カントリーライブ」を楽しませてくれました。

「ブルーサンダーボーイズ」とはメンバーは吉岡睦(E06)(ハーモニカ)、山口朝弘(F05)(ギター)、下野哲生(H09)(ギター)の3氏。1996年(昭和41年)に母校の学生バンドとして結成。現役仕事をクリア後に演奏活動を再開しました。仕立て直した新しいバージョンでオリジナル曲も加えて各種イベントなどで演奏活動を行っています。

懇親会は伊興田功学生部長の閉会の辞で終了しました。

#### ●フィナーレ

フィナーレは、J号館からグラウンドに向けて投影する「プロジェクションマッピング」が行われ、大学の懐かしい写真の数々や最先端の映像技術を楽しみました。

これは、母校の産学共同組織であるJIAMS(先端マルチメディア合同研究所)プロデュースによるもので、今回は建造物に映像を映し出すこれまでの方法から趣向を変え、J号館からグラウンドに向けて投影する工夫をこらしたものになっていました。

当日は大学祭期間中でもあり、多くの参加者でにぎわい、楽しんでいました。

## 「名誉教授称号記授与式」を母校が行いました

母校では10月20日(木)、寝屋川キャンパスにて「名誉教授称号記の授与式」を行いました。大石利光学長と成瀬淳理事長はあいさつの場において、今回受賞された先生方のこれまでの功績を称えとともに本学園の今後の方針について説明し、「その深い見識と外部からの視点をもって今後もぜひ本学園の発展にご協力いただきたい」と述べました。

授与式後には記念撮影を行い、また昼食会では近況報告や思い出話を楽しむ様子が見られ、終始和やかな雰囲気でした。



●授与された先生は次のとおり。

- ・橘 邦英(元 学長)
- ・足立 英郎(元 工学部人間科学研究センター 教授)
- ・生田 孝(元 工学部電気電子工学科 教授)
- ・西岡 昇(元 工学部環境科学科 教授)
- ・森本 正治(元 医療福祉工学部医療福祉工学科 教授)
- ・楓 大介(元 総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科教授)

(母校ホームページ 2016-10-21 掲載分より)

## 母校・四條畷キャンパス「なわフェス'16」を開催

11月20日(日)、四條畷キャンパスにて「なわフェス'16」を開催しました。四條畷キャンパスイベント運営委員会の学生が中心となって、趣向を凝らした様々なイベントが実施されました。

今年度のテーマは「私たちの『童話』」。声優上坂すみれさんによる『童話』を「声で伝える」トークショーや、『童話』を舞台とした脱出ゲーム、『童話』をモチーフにした食べ物の出店など、テーマに沿って、統一感ある内容で来場者を楽しませました。

またステージ企画ではダンスボー



カルユニット★STARS(スターズ)さんをお迎えしてのミニライブをはじめ、大声大会、ビンゴ大会など参加者も一緒に楽しめる企画が実施され、体育館では輪投げやボウリングなど、子どもたちも楽しめる競技が行われました。

あいにくの雨模様となりましたが、卒業生や地域住民の皆様をはじめ、多くの方々にご来場いただきました。

(母校・ホームページ 2016-11-21 掲載より)

## 母校・電気電子工学科の学生が「大阪府職業能力開発促進大会」で表彰

11月21日(月)、大阪市中心公会堂で「平成28年度大阪府職業能力開発促進大会」が開催されました。

大阪府では優れた技能者が適切に評価される社会づくりに取り組んでおり、この大会はその取組みの一環として、優れた技能者や職業能力開発・技能検定の推進に功績のあった方々を称え、技能を尊重する社会を形成するために開催されています。

この日は、森内優貴さん(工学部電気電子工学科4年生)と2016年3月に同学科を卒業した松本健一さんが、平成28年度2級技能検定試験「シーケンス制御作業」において優秀な成績を収めたとして表彰されました。

### 【受賞内容】

- 技能検定成績優秀者 大阪府職業能力開発協会会長賞
- ・森内優貴さん(工学部電気電子工



学科4年生)

●技能検定成績優秀者 大阪府知事賞

・松本健一さん(工学部電気電子工学科2016年3月卒業)

森内さんは「このような賞をいただき大変うれしいです。資格を取得した経験は就職活動にも役立ったと思います」と受賞の喜びを語ってくれました。また1級取得には実務経験が必要なことから、「就職したら1級に挑戦したいと思います」とさっそく上級資格への意気込みを見せました。

※写真は森内さん

(母校ホームページ 2016-11-22 掲載より)





入賞者と審査員での記念写真



## 友電会が 総合情報学部卒業研究展 『2016年度 なわてん』後援

母校・総合情報学部の卒業研究展『2016年度 なわてん』は2017年1月28日（土）、29日（日）の2日間、四條畷キャンパス6、7、10号館で開催されました。29日（日）にコナミホールで開かれたスペシャルイベント『なわてんグランプリ2016』で出品された169作品の中から優れた作品に各賞が贈られました。友電会では、今年度から「なわてん」を盛り上げるため「後援」として参加することになり、3組に「友電会賞」を授与しました。

### ●「友電会賞」の創設

今年度で14回目を迎えた「なわてん」の後援として友電会が参加しました。「なわてん」は、総合情報学部のデジタルゲーム学科、情報学科、メディアコンピュータシステム学科、デジタルアート・アニメーション学科の4学科の4回生が「卒業研究展」として開催しているものです。

友電会では、母校の「大イベント」を後押しするため、参加することになりました。「友電会賞」は3組です。

28日午後、友電会の福田武（E02）会長をはじめ三役と、担当の事業部会の川口明良（F04）部会長や部員など8名が「なわてん」の会場で作品を見て回り、選定しました。

また、28日午後3時から四條畷キャンパス6号館1階の「エルスエヒロ」で、総合情報学部の「ホームカミングデー」に約100名が参加して開催されました。

友電会の福田武（E02）会長は、「多くの卒業生が出席してのホームカミングデーは楽しいものです。この日を忘れずに、毎年参加してください。ますます盛大になることを期待しています」とあいさつしました。

### ●「グランプリ賞」は、長江剛さん・高山大輝さんの作品

グランプリは、長江剛さん（デジタルアート・アニメーション学科※）、高山大輝さん（デジタルゲーム学科）の作品「ゴブリンキングダム」が受賞しました。本作は観客賞とダブル受賞となりました。

神崎和男・審査委員長から表彰状と賞金が手渡されました。

グランプリを受賞した「ゴブリンキングダム」は、中世の城を舞台に、次々と迫ってくるゴブリン（敵）を倒していくVR（バーチャルリアリティ）ゲーム。

VRは、ゴーグルのようなヘッドマウントディスプレイを装着すると、360度全方向を取り囲む、3D空間が出現し、仮想現実に入り込んだような体験ができるのが特徴で、ゲーム業界で大きな注目を集める新しい技術です。

長江さん、高山さんは、「これからも、この道に進みますが、頑張りたいと思います。援助してくださった先生方をはじめ学校の皆さんに感謝しています」と受賞の喜びを語りました。

### ●福田武・友電会会長（E02）「友電会賞」の講評

「友電会賞」は3組が選ばれ、福田会長から表彰状と賞金が手渡されました。



「友電会賞」を受賞した3組



卒業研究が展示された「なわてん」の会場



「友電会賞」を講評する福田会長



「友電会賞」の表彰式。福田会長から3組に表彰状と賞金が手渡された

福田会長は、『『なわてん』に友電会として初めて参加しましたが、アートあり、映像、ゲーム、研究論文ありで、デジタルメディアを駆使したユニークで、かつ熱意を感じることが出来ました。「友電会賞」としては、すべての作品に差し上げたいところですが、選定にあたって3作品という制約のため大変苦労いたしました。ここでエントリーした3作品を紹介させていただきます」とのべ、次のように講評しました。

#### ●「友電会賞」を受賞した3組

##### ◇「防災意識の向上に関する研究」論文

・道井菜央子さん（デジタルゲーム学科、原研究室）

本研究は、大規模災害が起こった際に被害を最小限に防ぐための意識と行動について多方面から調査・考察したものです。

最近では、いつどこで何が起こるか分からない状況で、特に若年層の防災・減災意識の向上のための対策が必要である事に着目し、最近の事例

調査を基に、SNSの適切な活用、体験型のゲーム要素を取り入れた脱出ゲームなど、今後の意識向上につながる要素を提案しています。

##### ◇「61」（ロクイチ）映像作品

・三鬼紗也佳さん、服部かおりさん、高階智之さん（デジタルアート・アニメーション学科※、藤田研究室）

大学で発生した殺人事件に学生達が巻き込まれるサスペンスドラマで、演技の経験がない学生達がそれぞれの役割を一生懸命演じています。

殺人事件の被害者が残した謎の数字「61」を巡って、新人刑事は学生達の証言にウソはないか？、謎の数字とは？、犯人との関連は？、現在の学生気質を取り入れたラストシーンで明かされる驚愕の真実のシナリオです。

##### ◇「Find the Life Once Again」展示映像作品

・張馳（ちょうち）（デジタルアート・アニメーション学科※、寺山研究室）

中国人留学生である作者が、日本

で学んだ理論や知識を母国での映像ビジネスとして、どこまで実践できるか？という課題で挑んだクライアントワーク作品です。

学生とは思えないバイタリティーと撮影・編集技術でスケールの大きな美しい映像作品として、また結実させたクライアント評価も高く、品質的にもプロの作品です。

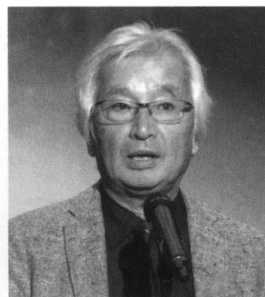
各々の作品は多岐にわたっており、指導された先生方も大変苦労されたと思いますが、学生の皆さんにとっても一生心に留める事でしょう。また社会に出られてもこの経験を生かされることを期待しております。

友電会としましても、今後ともこのイベントへの協賛を継続し、応援していきたいと思っています。

#### ●神崎和男・審査委員長 「グランプリ作品」の講評

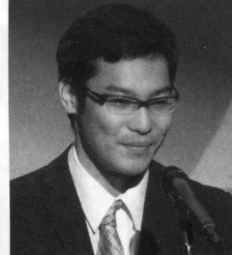
（デジタルゲーム学科教授）

例年通りジャンルが多様で内容も充実していました。グランプリ受賞作は2つの研究室の学生による共同



「グランプリ賞」を講評する  
神崎和男・審査委員長

「グランプリ賞」を受賞



「グランプリ賞」を受賞

㊤「ホームカミングデー」であいさつする友電会の福田武会長

㊦「ホームカミングデー」の会場

作品で、観客賞とのダブル受賞でした。昨年9月の東京ゲームショウにも出品したVRゲームで、没入感、操作性、キャラクタが魅力的な作品です。ヘビーユーザー向けであったゲームを、なわてん出展に当たってVR初心者も楽しめるようにデザインしなおした配慮もよかったと思います。2人とも素晴らしいゲーム会社に就職が決まっていると聞いています。今後のご活躍をお祈りします。

#### ●大石利光学長の総評

このように多くの皆さんに4年間の成果を卒業研究として見せる場は、本学では「なわてん」しかありません。この「なわてん」で皆さんが体験したこと、一番大事なことは、自分だけじゃなく周りとの協力し先生方の協力も得て、自分の思い描いたものをどうみんなに見てもらおうか、そういう場に向けて取り組んできたこと。これが、今後社会に出て大いに役に立つと思っています。後援会、京阪ジャーナル社、友電会...皆さんに後援していただきました。ありがとうございました。

## 『なわてんグランプリ 2016』

### 受賞作品

(学部は「総合情報学部」)

#### 【グランプリ】(1作品受賞)

##### ◆作品名:「ゴ布林キングダム」

・長江剛さん(デジタルアート・アニメーション学科※)

・高山大輝さん(デジタルゲーム学科)

#### ◇「観客賞」とダブル受賞

#### 【準グランプリ】(2作品受賞)

##### ◆作品名:「LOST COLOR」

・引田拓吾さん、木村悠登さん、越智雄大さん(デジタルゲーム学科)

##### ◆作品名:「Find the Life Once Again」

・張馳さん(デジタルアート・アニメーション学科※)

#### ◇「友電会賞」とダブル受賞

#### 【観客賞】(1作品受賞)

##### ◆作品名:「ゴ布林キングダム」

・長江剛さん(デジタルアート・アニメーション学科※)

・高山大輝さん(デジタルゲーム学科)

#### 【友電会賞】(3作品受賞)

##### ◆作品名:「61」

・高階智之さん、服部かおりさん、三鬼紗也佳さん(デジタルゲーム学科)

##### ◆作品名:「Find the Life Once

Again」

・張馳さん(デジタルアート・アニメーション学科※)

◆作品名:「防災意識の向上に関する研究—若年層の地域との関わりを中心に」

・道井菜央子さん(デジタルアート・アニメーション学科※)

#### 【後援会賞】(1作品受賞)

◆作品名:「靱帯特性に基づく痛み評価手法の提案とヒト型無線レスキューダミーによる検証」

・奥本昂大さん(情報学科)

#### 【アゴラ賞】(1作品受賞)

##### ◆作品名:「BLANK TOWER」

・行武元さん(デジタルゲーム学科)

#### 【学術研究賞】(1作品受賞)

◆作品名:「RoboCup SSL Humanoidにおける歩行動作の選択とキックへの応用」

・平井雅之さん(情報学科)

#### 【芸術賞】(1作品受賞)

◆作品名:「同一のモチーフを用いた映画楽曲の制作」

・八木礼実さん(デジタルアート・アニメーション学科※)

(※現デジタルゲーム学科)

(母校ホームページ・2017-01-30『なわてんグランプリ』の受賞者が表彰されました)より、一部引用)



## 「第52回大阪電通大 チャリティーラリー 丹後半島ラリー2016」

8月27日(土)、28日(日)の2日間、京都府京丹後市において、母校の「体育会自動車部」の主催(大会会長:大石利光学長)による「第52回大阪電通大チャリティーラリー 丹後半島ラリー2016」が開催されました。28日に京丹後市役所で行われたセレモニアルスタートでは、大石利光大会会長のフラッグを合図に、次々とラリーカーがスタートを切りました。

この丹後半島ラリーは、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)公認国内競技として、JAF中部近畿ラリー選手権、JMRC近畿SSラリーシリーズ、TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジカップのタイトルとして開催されており、JAF中部近畿ラリー選手権・JMRC近畿SSラリーより42チーム、TOYOTA GAZOO Racing ラリー



「丹後半島ラリー」の出発

チャレンジカップより33チーム、計75チームが出場しました。

閉会式では三崎政直大会名誉会長(京丹後市長)に続いて大石大会会長が挨拶を行いました。

大石大会会長は、大会が無事終了したことに感謝の意を表すとともに、「このラリーは京丹後市の観光をアピールするための一つ的手段として丹後半島を舞台に2012年に始まり、今年で5回目の開催となり、着実に地域に根付いていることを実感しています。これからも、この丹後半島を舞台にしたラリーが盛大に開催され、モータースポーツのファンが増え、さらに京丹後市の観光の目



ラリーの会場であいさつする母校の大石利光学長

玉となっていけるよう、皆さんとともに進めていきたいと思います」と今後の展望について語りました。

(母校のホームページ 2016-08-29 掲載分より)

## ■母校の学生団体一覧

2016年5月1日現在

### ■自治会直属団体 応援団 (休部中)

### ■体育会所属団体

|             |         |
|-------------|---------|
| 空手道部        | 5名(3)   |
| ラグビーフットボール部 | 8名      |
| 硬式野球部       | 70名(33) |
| ソフトテニス部     | 29名(5)  |
| 弓道部         | 25名(4)  |
| 卓球部         | 19名(5)  |
| 柔道部         | 11名(3)  |
| 剣道部         | 26名(12) |
| バレーボール部     | 24名(11) |
| 少林寺拳法部      | 6名(1)   |
| サッカー部       | 24名(10) |
| 男子バスケットボール部 | 30名(11) |
| 女子バスケットボール部 | 20名(10) |
| 合気道部        | 19名(1)  |
| 陸上競技部       | 17名(8)  |
| 自動車部        | 24名(6)  |

|              |         |
|--------------|---------|
| 硬式庭球部        | 11名(6)  |
| バドミントン部      | 25名(14) |
| サイクリング部      | 7名      |
| スキー部         | 30名(10) |
| ハンドボール部      | 19名(7)  |
| 軟式野球部        | 19名(4)  |
| アメリカンフットボール部 | 33名(16) |
| フットサル同好会     | 28名(14) |

### ■文化会所属団体

|             |         |
|-------------|---------|
| 吹奏楽団        | 19名(7)  |
| 軽音楽部        | 42名(18) |
| ギターマンドリンクラブ | 17名(3)  |
| SF研究会       | 41名(11) |
| 電子技術研究部     | 24名(6)  |
| 放送研究会       | 20名(1)  |
| 通信研究会       | 24名(11) |
| 音響研究会       | 11名(2)  |
| 映画研究会       | 56名(19) |
| 管弦楽団        | 13名(3)  |

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 電子計算組織研究会           | 46名(26) |
| 文道部                 | 17名     |
| デザインコミュニケーション部 WAVE | 13名     |
| コミックアート             | 35名(9)  |
| ストリート部              | 8名      |
| Photo部              | 15名(2)  |
| 奇術愛好会               | 5名      |
| 美術愛好会               | 5名      |
| ボランティア同好会           | 7名      |

|                 |              |
|-----------------|--------------|
| 学生団体加入状況        | 学生数(新入生)     |
| 学生数(2016-05-01) | 5234名(1241名) |
| 自治会直属団体加入者数     |              |
| 体育会所属団体加入者数     | 548名         |
|                 | (201名)       |
| 文化会所属団体加入者数     | 418名         |
| 加入者総数           | 966名         |
| 加入者比率           | 18.46%       |

母校の「女子バスケットボール部」が関西女子学生バスケットボールリーグ戦2・3部入替え戦を制し、2部昇格を果たしました。「関西女子学生バスケットボールリーグ戦」は1部～5部で編成された各部でリーグ戦を行い、各部の優勝・準優勝チームと下位2チームがそれぞれ入れ替え戦を行う大会です。

母校の女子バスケットボール部のメンバー



## 「女子バスケットボール部」が2部リーグに昇格

母校の女子バスケットボール部は3部リーグ準優勝という成績をおさめ、9月24日（土）に2部11位のびわこ成蹊スポーツ大学と入替え戦へ進出。

入れ替え戦は、試合開始よりリーグ準優勝の勢いをそのままに持てる力を発揮して点差を広げリードしました。

しかし、なんとしても降格を免れたい相手も気迫のディフェンスでプレッシャーをかけ、電通大のミスを誘い逆転に成功して前半を終了します。

ハーフタイムで自分達のプレーと相手のプレーを確認し、絶対に気持ちで負けないことをチームで約束して後半に臨みました。



バスケットボール試合の光景

後半に入るとリズムよくパスを回してシュートを決め、激しいディフェンスから速攻につなげて得点を量産していき、ついに再逆転に成功します。リードをしてからも攻撃の手を緩めず、相手を突き放していきます。

終盤になると、相手は死にものぐるいで攻撃をしかけて来ましたが、相手以上の気持ちでプレッシャーをはね返してリードを守ったまま勝利をもぎ取りました。

この成績に対して市谷浩一郎監督（医療福祉工学部健康スポーツ科学科 准教授）は「入れ替え戦といういつもと異なる雰囲気の中での試合でしたが、いつも通りの力を発揮してペースを握ることが出来ました。

前半終盤で逆転されましたが、チームには勝利への断固たる意志とこれまで勝ち抜いて来た自信があり、負ける気はしませんでした。後半に入り一気に逆転に成功して、そのまま試合終了まで集中して勝つことができた。

8年前、本学に女子バスケ部を founding 足させ、一歩ずつ進んで来ました。

卒業生も含めこれまでチームで積み重ねたものが2部昇格という結果になったと思います。今の現役生も先輩達からの意志を受け継ぎ、バトンを握りながら、私の指導について来てくれた。時には厳しく、多くの辛いこともあったと思うが、本当に良く頑張ってくれた。

来年度から2部という上のステージで戦いますが、まだまだ登りたい道があります。チームのみんなと一緒に更に上のステージを目指して頑張っていきたいと思っています。

今大会、応援に来て頂いた保護者や教職員の皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。」と今後に向けての決意を新たに、次を見据えていました。

▽入替え戦

大阪電気通信大学（3部2位）

びわこ成蹊スポーツ大学（2部11位）

大阪電気通信大学 75 （21-16, 10-22, 26-9, 18-17） 64 びわこ成蹊スポーツ大学

（母校ホームページ 2016-09-26 掲載分より）

## 「女子バスケットボール部」 大阪府民体育大会で準優勝

●友電会からお祝い金5万円を贈る  
5月14日(土)～6月2日(木)に開催された「大阪府民体育大会・バスケットボール競技」において、母校の「女子バスケットボール部」が予選リーグ、準決勝を全勝で突破し、決勝へ進出しました。決勝惜しくも敗れ、準優勝でした。友電会では、これを祝福してお祝い金5万円を7月6日に学生課を通じて贈りました。

## ●「大阪府民体育大会・バスケットボール競技」とは

大阪府民体育大会・バスケットボール競技は、大阪府下の実業団やクラブチームなど高校生以下を除く全てのカテゴリーが参加する大会です。男女あわせて34チームが予選リーグ・決勝トーナメント方式で競う、国体チームの選手選考もかねた大会です。

決勝は、6月2日(木)18:30より大阪市立中央体育館にて、第一生命と対戦しました。今回は「準優勝」に終わりましたが、次回には「優勝」と練習に励んでいます。

(写真は、いずれも母校のホームページより)



母校の女子バスケットボール部の試合光景

## 柔道部の学生が優勝

## 「寝屋川市柔道大会」と

## 「守口市総合体育大会 柔道競技」で



母校の柔道部の学生が「第20回生間杯争奪寝屋川市柔道大会」と「第64回守口市総合体育大会 柔道競技」に出場し、それぞれで優勝を果たしました。また、「第20回生間杯争奪寝屋川市柔道大会」では団体戦でも優勝を飾りました。

これを称えて、12月8日(木)、伊與田学生部長は「今後の部活動に役立ててほしい」と、柔道部主将丸山友希さん(電子機械工学科・3年)に奨励金を贈呈しました。

伊與田学生部長への報告の中で丸山さんは「これからも色々な大会に積極的に出場し、どんどん優勝を狙っていきたい」「電通大柔道部のチーム力は向上しているので今後が楽しみ」などと語っていました。

<第20回生間杯争奪寝屋川市柔道大会>

会期：平成28年11月3日(木)  
会場：寝屋川市民体育館 柔道場

一般団体の部 優勝

大阪電気通信大学

一般初段の部 優勝

井上 智貴(情報工学科・1年)

一般初段の部 準優勝 直原 優太

(健康スポーツ科学科・1年)

<第64回守口市総合体育大会柔道競技>

会期：平成28年10月16日(日)

会場：守口市民体育館 武道室

一般団体の部 準優勝

大阪電気通信大学

一般選手権 優勝 芳村 知樹

(健康スポーツ科学科・1年)

一般初段の部 優勝 井上 智貴

(情報工学科・1年)

一般段外の部 優勝 野原 健吾

(機械工学科・1年)

(母校のホームページ 2016-12-09-  
掲載より)





友電会主催

## 「平成28年度現役学生とOB教員との教育懇談会」

友電会主催の「平成28年度現役学生とOB教員との教育懇談会」が、平成28年7月16日(土)午後1時から母校・寝屋川キャンパスY号館(実験センター)のY-510号室で開催されました。指導講師に滋賀県立八幡工業高校教諭・電気科主任の皆川重裕(G15)先生を招き、「学習指導力の向上—製作実習とその指導」のテーマのもとで行われました。現役学生8名など約20名が参加し、ハンダ付けの実習を通じて「テスターの製作」を体験しました。

### ●開会式

教育懇談会は同会の代表世話人をつとめる廣谷明(F12)友電会副会長の司会で開会。廣谷副会長は「大阪電気通信大学友電会会員、つまりOB教職員と、将来教育関係の職を目指す学生との懇談・交流を通して、学校教育に従事することの意義や教育者としてのあり方について学習することを目的としています」と開催の目的について述べました。

次いで、この6月に友電会会長に就任した福田武(E02)氏は、自己紹介をしたあと、「友電会会員、つまり先輩教職員との交流は、教育関係を目指す学生さんにとって有意義なことです。この機会にしっかり学習してください」とあいさつ。

母校の工学部長、松浦秀治教授は、「教職関係を目指す学生にとって、本日は大変よい機会になると思います。先輩の指導を受け、立派な教育者を目指してください」と語りました。

### ●製作体験

講師の皆川先生は、本日の教育懇談会の指導の進め方について説明。この中で、「中学校技術分野のハンダ付けが主テーマで、『テスター』の製作を指導します」と語り、本日製作する「テスター(SANWA KIT-8D)」のパーツ確認、ハンダ付け方法と注意点などについて説明しました。

午後2時から、現役学生とOB教員とがグループを組み、交流しながら約2時間30分にわたってハンダ付けの実習を通じて「テスター」を製作しました。

午後4時30分から、「完成チェック(動作確認)」が行われ、母校の森石峰一(F14)准教授(友電会理事)の講評と閉会の辞で、第1部を終了しました。

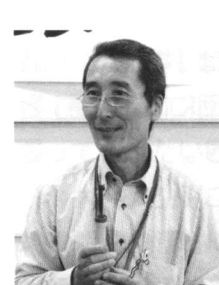
参加した学生からは、「大変参考になりました。こうした機会を作ってくださった友電会に対して感謝します」といった声が聞かれました。

### ●第2部の「交流懇談会」

第2部の「交流懇談会」は、午後5時30分から会場を母校・寝屋川キャンパスZ号館3階の生協レストランに移して開催されました。

友電会の福田会長は、「本日の教育懇談会は、参加した学生の皆さんにとって有意義なものになったと思われます。今後は友電会として、あらゆる面で学生のためになる会合を開催していく予定でいます」と語り、「乾杯」の発声で交流懇談会に入りました。

会場では、各所で学生とOBが話し合う光景が見られ、なごんだ雰囲気にも包まれていました。午後7時30ごろに散会しました。



指導講師の滋賀県立八幡工業高校教諭・電気科主任の皆川重裕(G15)先生



あいさつする福田武(E02)友電会会長



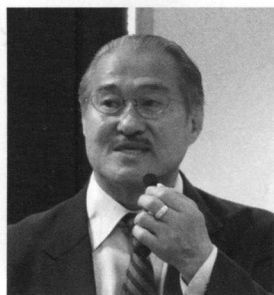
あいさつする母校の工学部長、松浦秀治教授



教育懇談会代表世話人をつとめる廣谷明(F12)友電会副会長



## 「平成28年度企業家同友会」(友電会主催)開催



司会の岡本清孝(H11)  
友電会副会長



あいさつする  
大石利光学長



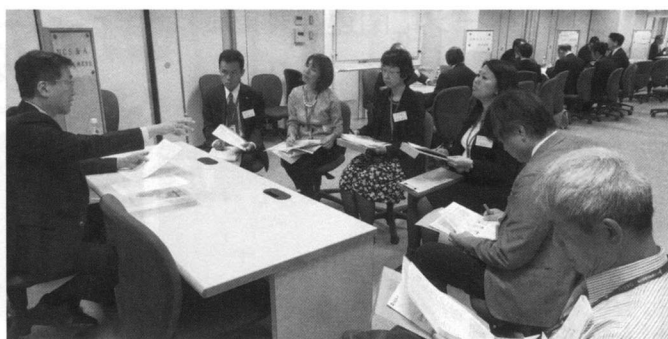
情報交換会について説明  
する不破信勝就職部次長



あいさつする就職部長の  
南角茂樹先生



あいさつする友電会の  
池本善一(E02)会長



情報交換会の光景

友電会主催の「平成28年度友電会企業家同友会と大学との情報交換会」は平成28年5月14日(土)午後2時から、寝屋川キャンパスZ号館5階の会議室で開催されました。今回は8つの企業が参加、母校の就職関係者約20名が出席しました。母校関係者は4つのグループに分かれて、参加の各企業の内容などの説明を聞き、多くの質問が出るなど、活発で有意義な会合となりました。

### ●「企業家同友会」

同情報交換会は岡本清孝(H11)友電会副会長の司会でスタートしました。同副会長は今回の同友会について、「母校の学生の就職面で、同窓会として役に立ちたい」として企画し

たことを述べました。

次いで大石利光学長はあいさつの中で「学生は『宝もの』です。実学教育で『人間力』と『技術力』を培うよう教育していきたい」と語り、協力を要請しました。

就職部長の南角茂樹先生は、「今回の会合で得た情報を、学生の就職面で活用していきたい」とあいさつがあり、不破信勝就職部次長が今回の情報交換会の内容について説明しました。

友電会の池本善一(E02)会長は、「母校の学生のために、就職面で役に立てばと考え企画しました」とあいさつし、会合はスタートしました。

情報交換会は、母校の就職関係者

約20名が5、6名ずつ4つのグループに分かれ、8つの参加企業を回って説明を聞く方式で行なわれました。午後5時までの3時間にわたって続けられました。

### ●「懇親会」

午後5時から会場をZ号館3階の生協レストランに移して、「懇親会」が開催されました。不破次長の司会、総合情報学部魚井宏高先生の乾杯の音頭でスタートしました。

会場では、名刺の交換や情報交換会で得た情報をもとに会話が弾みました。

午後6時30分ごろに、南角就職部長の「大阪手締め」で散会しました。



熱戦が展開された

(表紙3ページに関連写真掲載)

友電会主催 第39回(平成28年度)

## 「卒研室対抗ソフトボール大会」



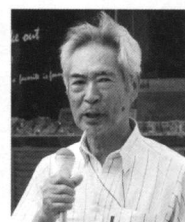
開会式の光景



司会の友電会  
柴垣事務局長



挨拶する大会委  
員長の渡邊先生



挨拶する友電会  
水谷副会長



挨拶する友電会  
福田会長

### ●早坂研(情報工学科)が優勝

友電会主催の「第39回(平成28年度)卒研室対抗ソフトボール大会」は平成28年8月30、31日(火、水)の両日、母校・寝屋川キャンパスのグラウンドで開催され、早坂研(情報工学科)が優勝しました。今回は22研究室18チーム、250名の先生と学生が参加してトーナメント方式で開催されました。熱戦が展開され、参加学生からは「有意義な大会で学生時代の良い思い出になった」といった感想が聞かれました。

### ●開会式

「真夏の恒例行事」として定評のある「卒研室対抗ソフトボール大会」は、友電会が「学生にとって思

い出に残る有意義な行事を」との発想からスタートし、今回で39回目を迎えました。

前日の29日は台風10号等で関西地方は大雨に見舞われ、大会開催が危ぶまれていましたが、準備を当日朝から進め、開会式を午前9時30分から午前11時にしました。当日は、晴れ上がり、グラウンドも水たまりもほとんど見られませんでした。まさに絶好のソフトボール日和となりました。

開会式は午前11時からエデュケーションセンター(J号館)東側の「円形広場」で、柴垣佳明(D33)友電会事務局長(母校教授)の司会で開催されました。

試合ルールや注意事項などの説明

の後、渡邊俊彦・第39回卒研室対抗ソフトボール大会実行委員長(電気電子工学科教授)が「大いに楽しみながらソフトボールを展開してほしい。学生時代の良き思い出になるような試合を望んでいます」とあいさつ。続いて友電会の水谷元也(E08)友電会副会長は「この大会は、友電会として学生を対象とした最大の事業で評判はすごくいいです。学生時代の思い出づくりに頑張ってください」と語りました。

前回の第38回大会は雨天のため準決勝、決勝戦が中止になり優勝は4チームでした。優勝チーム・富岡研究室(電気電子工学科)、足田研究室(電子機械工学科)、宇田研究室





前年優勝チーム(富岡研・宇田研・疋田研・川口研)から優勝カップの返還



優勝した早坂研究室(情報工学科)チーム



溝井研(基礎理工学科)に準優勝カップを授与



森研と阿南・添田研究室に3位の表彰盾を授与



宇田研(機械工学科)にリプリカ贈呈



疋田研(電子機械工学科)にリプリカ贈呈

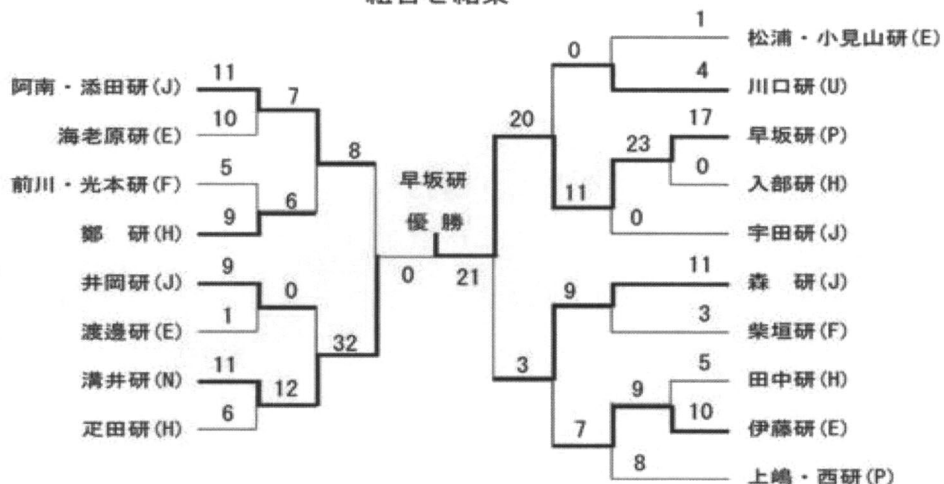


川口研(環境科学科)にリプリカ贈呈

閉会式の光景



### 「第39回 平成28年度卒研室対抗ソフトボール大会」 組合せ結果



(機械工学科)、川口研究室(環境科学科)から優勝カップが渡邊俊彦先生に返還され、リプリカの贈呈がありました。

#### ●プレーボール

試合は、午前11時30分からA、B、C、Dの4つのコートで一齐にプレーボール。午前中は曇りがちの天候の中で試合が展開されました。午後からは快晴となり、風が少し強かったこともあって珍プレーが続出していました。

翌31日の2日目は、午前10時から準決勝戦と午後12時30分から決勝戦が行われました。

準決勝戦は早坂研と森研(機械工学科)、溝井研(基礎理工学科)と阿

南・添田研(機械工学科)がそれぞれ対戦。早坂研が20点をもぎ取り、森研(3点)に大勝しました。溝井研が32点、阿南・添田研が8点と大差で溝井研が勝利しました。

決勝戦は早坂研と溝井研で、21対0という結果に終わり、早坂研が見事優勝しました。

「早坂研のピッチャーはすごかった。ほとんどが三振か、打っても内野ゴロなどで塁に出られない状況」との評価が上がっていました。

#### ●閉会式

閉会式は午後2時から「円形広場」で準決勝に出場した4チーム約60名が参加して行われました。

柴垣・友電会事務局長の司会で進

められ、渡邊大会委員長は「ケガもなく大変有意義な大会となりました。本当に良い思い出になったのではないのでしょうか」とあいさつ。

続いて友電会の福田武(E02)友電会会長は「皆さん、本当にご苦労様でした。熱戦に続く熱戦を展開され、良き学生時代の1ページになれば、友電会として大変意義のある事業と思っています」と述べました。

この後、福田会長から早坂研に優勝カップ、溝井研に準優勝カップ、3位の森研と阿南・添田研に楯が手渡されました。

4チームの集合記念写真を撮影して、「第39回(平成28年度)卒研室対抗ソフトボール大会」は閉会しました。



# 友電会「大阪支部」が誕生



大阪支部設立総会に出席した会員



「大阪支部」役員(左から福田監事、工藤事務局長、平岡支部長、船越副支部長、澤田会計幹事)

## ■友電会「大阪支部」が誕生

友電会「大阪支部設立総会」は、平成28年12月10日午後1時から母校・寝屋川キャンパスA号館1階の「大会議室」で開催され、役員の選出などを決議し、「友電会大阪支部」が誕生しました。設立総会には大阪はもとより近府県在住の会員約30名が出席して開かれました。

## ●友電会「大阪支部設立総会」

大阪支部設立総会は「支部設立発起人会」代表の平岡臨(I07)氏が議長となり、発起人会の経緯などについて説明報告しました。

冒頭、平岡氏は「母校のある大阪に支部を設置したいという気持ちが高まり、発起人会を設置しました。ここに、ようやく設立総会を開催す

ることができました」とあいさつ。発起人会は平岡氏をはじめ、吉川博史(I05)、野田鐘一(F07)、水谷元也(E08)、岡本清孝(H11)の5氏。

会場からは、「大阪支部ではなく『大阪総支部』ではないか」といった質問が飛び出し、これに対して平岡氏は「多くの課題があり、ひとつひとつ解決していかなければならない」と思い、当初は『支部』として設立することとしました」と回答しました。

このあと支部役員が発表されました。支部設立にかかわった11人のメンバーと支部設立発起人会の中から選出したもので、役員会で別項の通り担当が決まりました。

決を取ったところ、全会一致で

「友電会大阪支部」の設立が承認されました。

## ●懇親会

「懇親会」は午後2時30分から寝屋川キャンパスZ号館3階の「生協レストラン」で招待者など約50名が参加して開かれ、工藤英男(I09)事務局長の司会で進められました。

平岡支部長は「さきほど開催しました大阪支部設立総会で、『大阪支部』が誕生しました。母校のある大阪に支部を設置することは、会員諸氏の長年にわたる念願でした。支部活動を通じて友電会、そして母校の発展に貢献していきます」と抱負を語りました。

続いて母校の成瀬淳理事長は、大阪支部設立のお祝いの言葉を述べる



設立総会の議長を務める  
平岡臨(107)支部設立発起人代表



あいさつする母校の  
成瀬淳理事長



あいさつする母校の  
大石利光学長



あいさつする  
廣谷明(F12)副会長



懇親会の司会工藤  
英男(109)事務局長



乾杯の音頭をとる船越  
亨(108)副支部長



澤田正雄(P39)会計  
幹事が閉会の辞



大学歌を斉唱する参加者



懇親会の光景

とともに、「皆さんの母校の創始者の中に、大変立派な方がおられました。『やさしい心』『研究する心』などを信条としていたそうです。この雰囲気は今も皆さんの母校に息づいていると思っています」と語りました。また、母校の現状については5カ年計画を進めており、新学科として「建築」系を増設する予定などを明らかにしました。

大石利光母校学長は「友電会にとっても大学にとっても『大阪支部』の設立は大きな一歩です。大阪支部の活発な活動に期待します。4万9000人の卒業生の力を、18歳人口の減少により厳しい状況下におかれている大学にかしてほしい」と協

力を要請しました。

また、友電会の廣谷明(F12)副会長は会長代行として「今後の友電会のあり方ですが、当初は「遊電会」といっていました。『遊ぶ』は『楽しむ』につながります」とし、その中心は「支部」であるとしています。「関東」に設置され、その後は「関西」、「東海」、そして今回の「大阪支部」の設置は、「楽しむ場」が増大するとともに、母校のある地域であり、「1万1000名が在住する大阪支部の活動に期待します」と力強く語りました。

さて、いよいよ乾杯の音頭。船越亨(108)副支部長の発声で「乾杯」により、懇親会のスタートとなりました。

会場では「大阪支部」の設立を祝ったり、母校の発展について語り合うなど和んだ雰囲気のパartyとなりました。

大学歌を水谷元也(E08)友電会副会長のリードで斉唱し、全員での記念写真の後、澤田正雄(P39)会計幹事の閉会の辞で、来年度の大阪支部総会での再会を約し、散会しました。

#### ●大阪支部役員(敬称略)

|      |            |
|------|------------|
| 支部長  | 平岡 臨(107)  |
| 副支部長 | 船越 亨(108)  |
| 事務局長 | 工藤 英男(109) |
| 会 計  | 澤田 正雄(P39) |
| 監 事  | 福田真規夫(I13) |



## 平成29年度友電会「東海総支部総会・懇親会」のご案内

友電会・東海総支部(志村哲樹(F07)総支部長)は「平成29年度総会・懇親会」を平成29年6月3日(土)に愛知県名古屋市の「名鉄グランドホテル」で開催します。午後1時から受け付け開始、1時30分から総支部総会、1時50分から大石学長による記念講演会、3時30分から懇親会を予定しています。申し込み締め切りは、5月15日(月)です。

さて、友電会東海総支部は平成29年度の総会・懇親会を下記の通り開催しますので、ご参加頂き東海地区の友電会会員との情報交換、交流の場としてご活用いただきたいと思います

ます。

ご多忙とは存じますが、皆様には万障繰り合わせの上、ご参加賜りたくご案内申し上げます。

- ・日 時：平成29年6月3日(土)  
13時30分～17時00分
- ・場 所：名鉄グランドホテル  
(JR名古屋駅、正面改札南120m) 11階宴会場
- ・会 費：5,000円  
(ご家族、同伴者は無料)
- ・タイムテーブル：  
13:00 受付開始  
13:30 東海総支部総会  
13:50 大石学長の記念講演会

14:40 The Blue Thunder Boys による演奏会

15:30 懇親会(立食パーティ形式)

17:00 閉会

◆出欠の連絡は下記項目をFAXまたはE-mailで友電会事務局または志村までお願いします。

なお、〆切は5月15日までとさせていただきます。

①氏名 ②卒業年・学科 ③連絡先  
④同伴者名

●友電会事務局連絡先

FAX: 072-824-1197

E-mail: yudenkai@yudenkai.org

●志村連絡先

E-mail: tetsuki@cac-net.ne.jp

## 「36会」が四万十川など高知県西部「幡多路へのツアー」

昭和36年入学生のOB会「36会」は、5月30日(火)～6月1日(木)の2泊3日、四万十市、黒潮町、土佐清水市など高知県西部地区「幡多路へのツアー」の参加者を募っています。募集人員は10名で、参加費は2泊の宿泊代1万2400円を含め、概算で4万1520円ほどになります。会員諸氏の参加をお待ちしています。

### ●スケジュール

#### ・1日目

集合は12時20分に、JR四国高知駅改札口前。バスで中村(四万十市)まで移動。

トンボ自然公園を散策、夜は屋形舟で四万十川の蛍見川下り。船の中で食事をする予定。

#### ・2日目

ホエールウォッチング(黒潮町の港から漁船で。8:15～11:30)。太平洋が見えるレストランで昼食。足摺岬、ジョン万次郎生家、竜串など観光。バスで移動。

夜は映画「アラウンド四万十」のロケが行われた居酒屋「ポコペン」で皿鉢料理を堪能。

#### ・3日目

バスで四万十川「沈下橋」観光。農



岩間沈下橋(四万十市ホームページより)

家レストラン「しゃえんじり」で昼食。西土佐(道の駅)で休憩。高知駅で途中下車可能。桂浜散策後、高知空港へ。

なお、宿泊先の「中村プリンスホテル」は四万十川に近く、朝の散策などは楽しいです。

・問合せ先一宮崎孝

ta-miyazaki@m101.rd-net.jp

## サムコの新社長に母校OBの石川詞念夫(G17)氏が就任

半導体等電子部品製造装置で知られるサムコ(株)の新社長に母校・工学部物性工学科を昭和56年に卒業した石川詞念夫(G17)(いしかわつねお)氏が内定しました。

平成28年9月7日の取締役会で内定、10月21日開催予定の第37期定時株主総会および、その後に開催さ



れる取締役会で承認されました。

石川氏は母校を卒業と同時にサムコへ入社。平成8年に東京営業部長、平成10年に取締役東京営業部長、平成16年に取締役営業本部長、平成23

年に取締役常務執行役員営業部門統括部長、平成24年に取締役副社長執行役員営業統括部長、平成27年取締役副社長執行役員営業統括部長兼営業技術部長、現在に至ります。

学生時代はギターマンドリン部に所属し音楽を楽しんでいました。

昭和32年6月20日、京都府生まれ。

なお、辻理会長兼社長は代表権のある会長兼最高経営責任者(CEO)に10月21日付け就任します。





平成28年度3団体合同懇親会  
緑樹会・クラブ同窓会・友電会

①記念写真「緑樹会と教職員」

②記念写真「友電会第1期生から第5期生」



③記念写真「友電会第6期生から第15期生」

④記念写真「第16期生以降と学生」





# 平成 29 年度友電会通常総会・合同懇親会

日程：平成 29 年 6 月 17 日(土) 会場：母校・四條畷キャンパス

友電会では、「平成29年度通常総会・同窓会3団体合同懇親会」を平成29年6月17日(土)に開催します。会場は、母校・四條畷キャンパスを予定しています。

今年度は「未来への飛翔」をテーマに四條畷キャンパス施設見学会、記念講演会、懇親会を催

します。また、母校の教職員のOB会「緑樹会」、「クラブ同窓会」と合同で懇親会を開くため恩師、学生時代にクラブ活動をしていた多くの会員が参加します。会員諸氏におかれましては、会友をお誘いのうえ、ご家族連れでご出席下さいますようお願いいたします。お待ちしております。

◆詳細につきましては、5月上旬発行予定の会誌「ゆうでんかい」127号  
友電会ホームページをご覧ください。

<http://www.yudenkai.org/>



## ●テーマ：「未来への飛翔」

友電会では、「一般社団法人 大阪電気通信大学 友電会」を目指しています。今年度の「通常総会」に、「友電会の一般社団法人化」案を提出する予定でいます。今年度が「法人・友電会」のスタートの年になるため、「未来への飛翔」を平成29年度のテーマとしました。

## ●記念講演会

- ・講師：総合情報学部長  
魚井宏高教授
- ・講演テーマ：未定

## ●日程：平成29年6月17日(土)

### ●会場：四條畷キャンパス

### ●懇親会会費：3,000円

(ただし、同伴者、学生、大学関係者、来賓は無料)

### ●タイムテーブル(予定)

- ・11:00～ 総会受付開始
- ・11:10～11:40 クラブ同窓会総会
- ・11:10～12:10  
キャンパス施設見学会
- ・11:45～12:05 第1回支部長会
- ・12:10～12:50 第2回理事会
- ・13:00～13:50 友電会通常総会

### ・13:00～13:50 緑樹会総会

### ・14:00～14:50 記念講演会

### ・15:00～17:00 合同懇親会

### ●路線バス時刻

- ・JR 四條畷駅発  
10:13 10:38 10:50 11:28 11:45  
12:10  
(四條畷電通大行 約15分)
  - ・京阪寝屋川市駅発(東口)  
10:02 10:32 11:02 11:32 12:02  
(電通大四條畷キャンパス行  
約30分)
- ※京阪バス4月1日から路線バス運行開始認可申請中